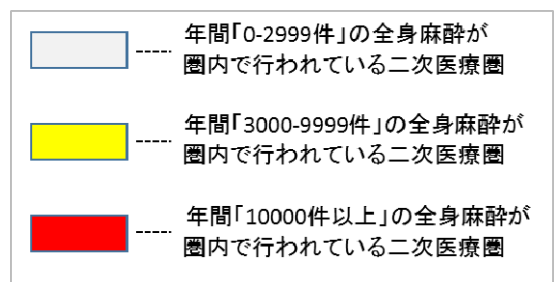
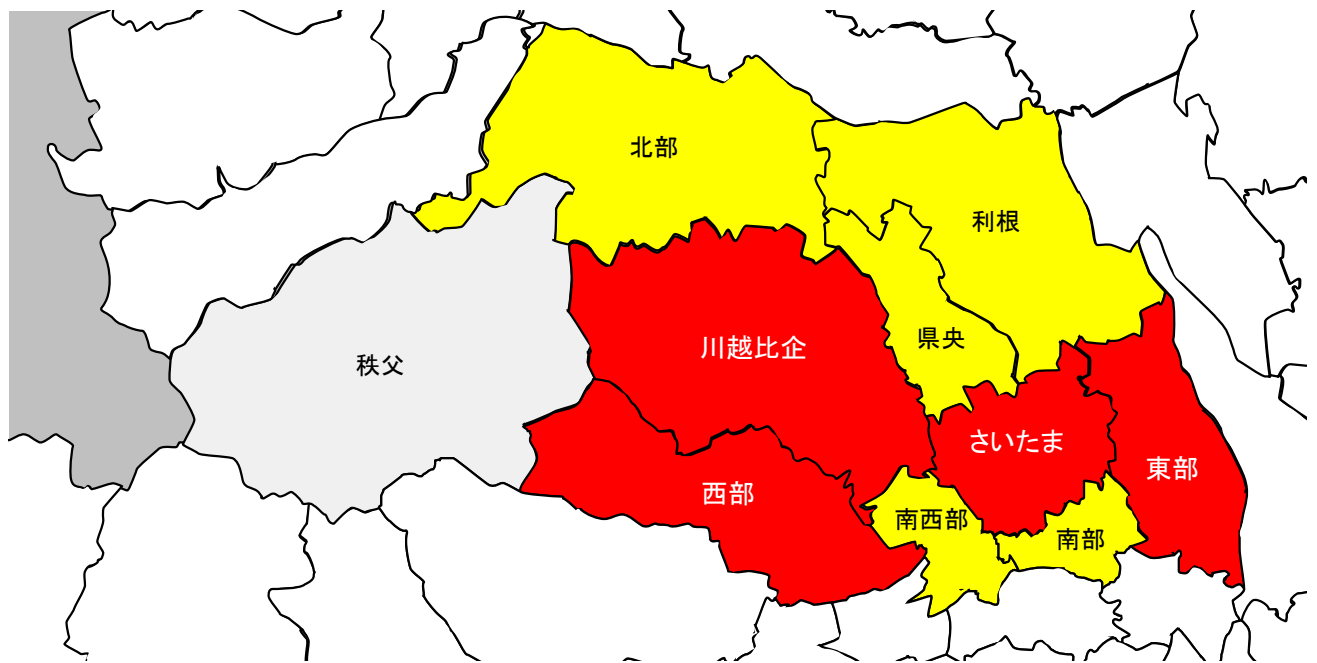


11. 埼玉県



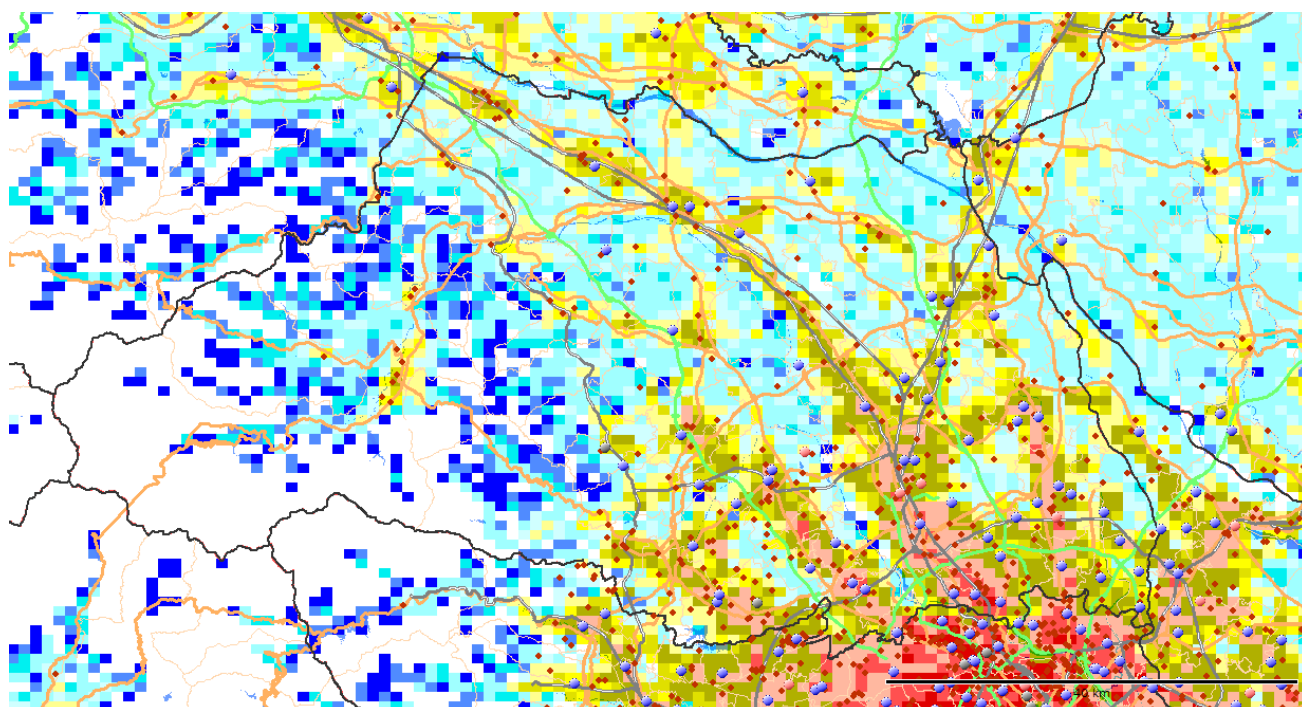
11. 埼玉県

目次

埼玉県.....	11 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	11 - 7
1. 南部医療圏.....	11 - 19
2. 南西部医療圏.....	11 - 23
3. 東部医療圏.....	11 - 27
4. さいたま医療圏.....	11 - 31
5. 県央医療圏.....	11 - 35
6. 川越比企医療圏.....	11 - 39
7. 西部医療圏.....	11 - 43
8. 利根医療圏.....	11 - 47
9. 北部医療圏.....	11 - 51
10. 秩父医療圏.....	11 - 55

11. 埼玉県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 埼玉県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

11. 埼玉県

(埼玉県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 埼玉県は、総人口約 7206 千人(2015 年推計)、面積 3798 km²、人口密度は 1897 人/km²である。

*人口の将来予測： 埼玉県の総人口は 2025 年に 6991 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 6305 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 765 千人が、2025 年にかけて 1177 千人へと増加し(2015 年比+54%)、2040 年には 1198 千人へと増加する(2025 年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 埼玉県の一人当たり医療費(国保)は 282 千円(偏差値 43)、介護給付費は 194 千円(偏差値 35)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 埼玉県の一人当たり急性期医療密度指数²は 0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.67 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 42、診療所医師数 41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 40 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 43 と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 46 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 45 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 46 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 39 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 埼玉県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、83541 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 46010 床(偏差値 51)、高齢者住宅等が 37531 床(偏差値 59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、54894 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 53、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 61、軽費ホーム 49、グループホーム 45、サ高住 56 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、7723 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は46438床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は54200床であり、その差は+7762床(+17%)である。

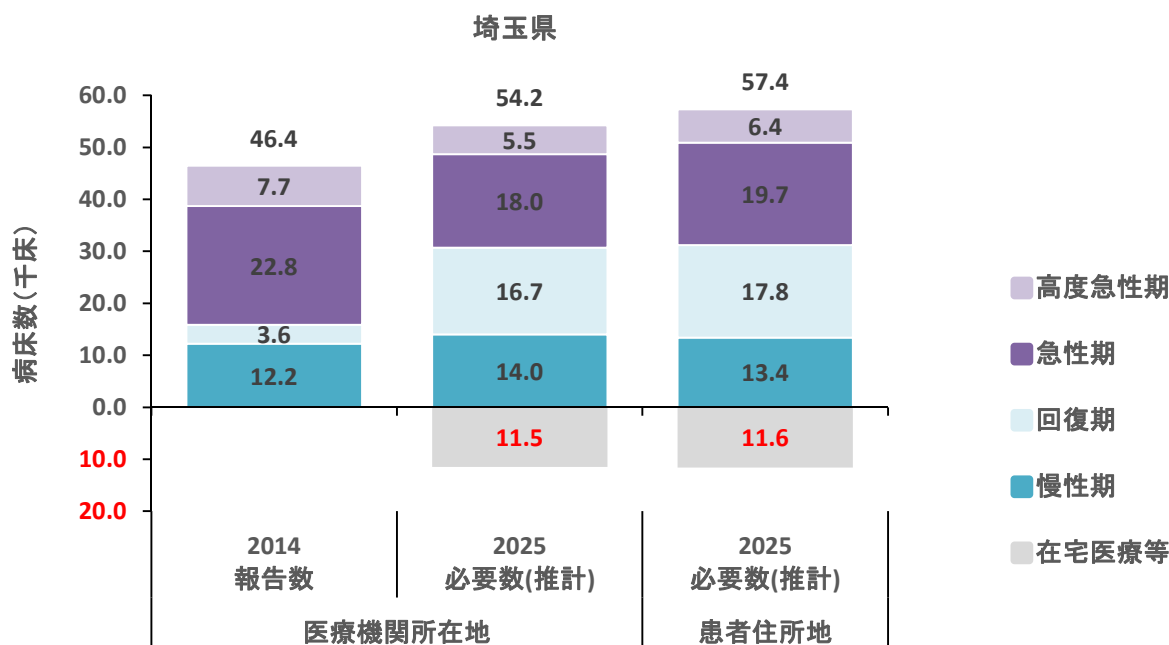
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は7732床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5500床であり、その差は-2232床(-29%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は22827床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は18000床であり、その差は-4827床(-21%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は3637床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は16700床であり、その差は+13063床(+359%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は12242床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は14000床であり、その差は+1758床(+14%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は11500人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+15%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-33%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

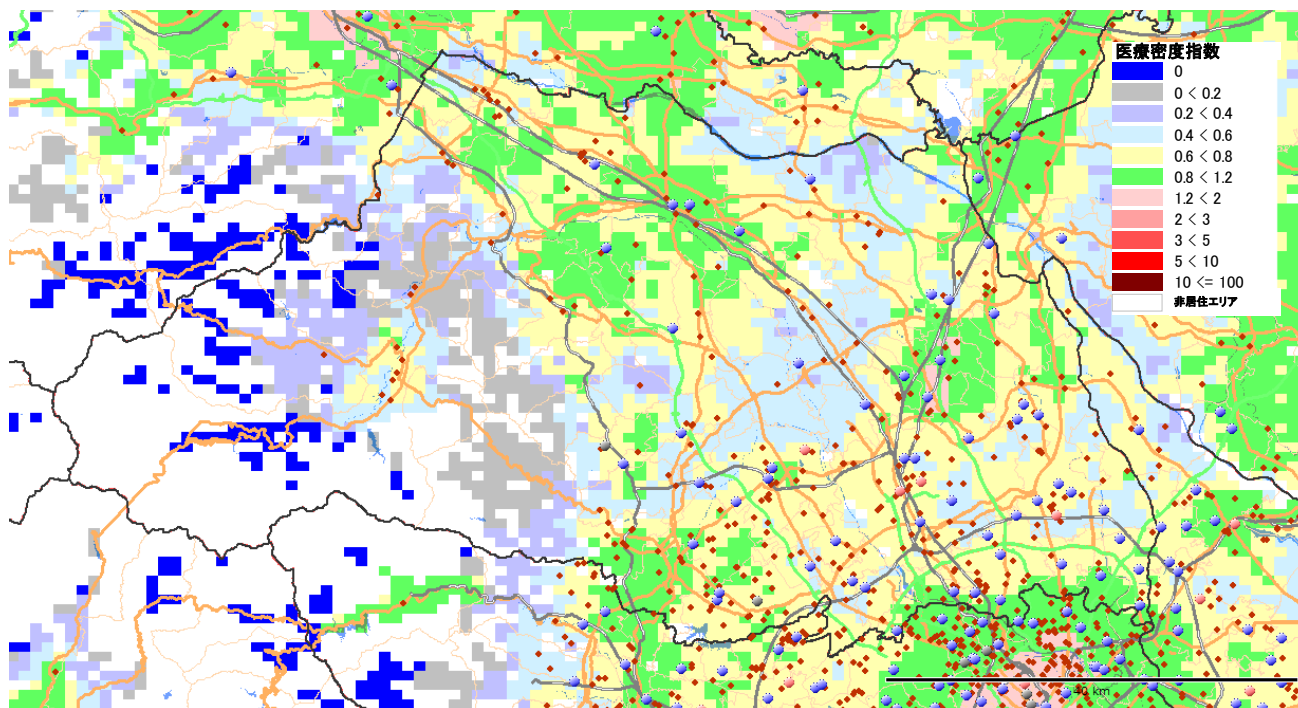
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多い/少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

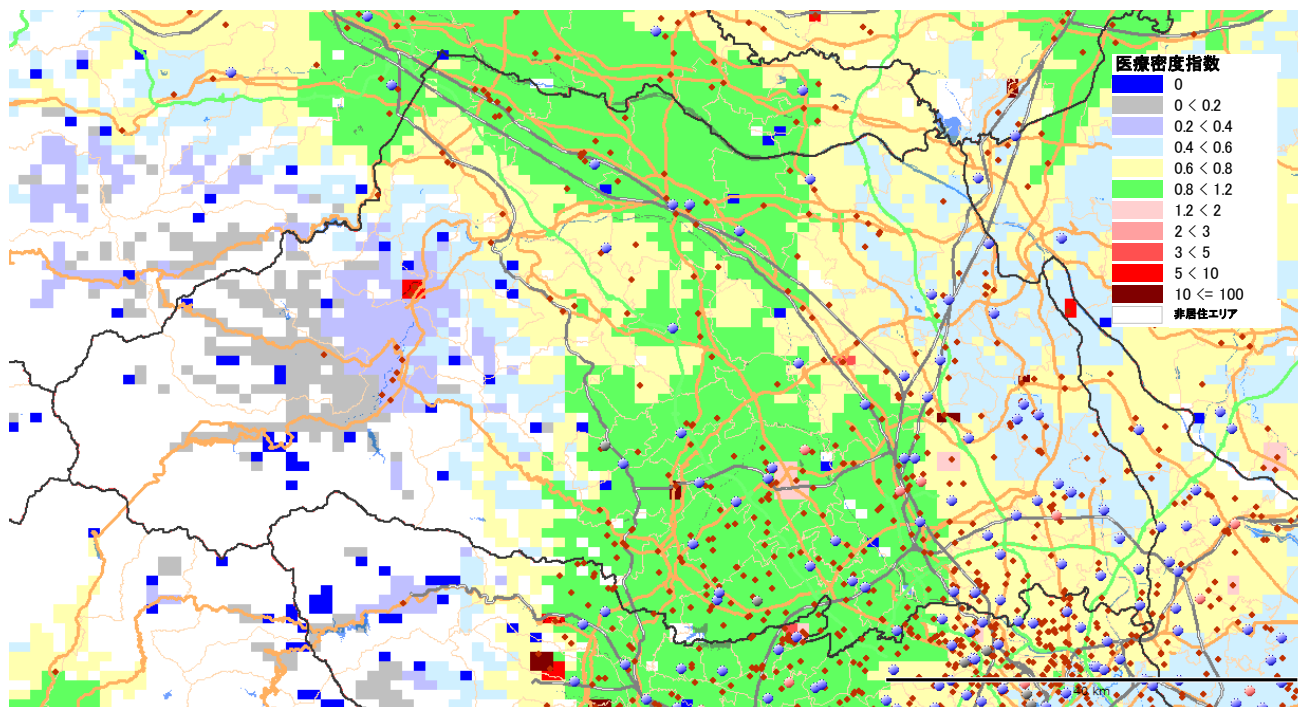
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 11-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
埼玉県	7,206	5位	3,798	39位	1,897.3		25%	6,991	6,305	765	1,177	1,198	-3%	-10%	54%	2%
南部	770	11%	85	2%	9,036.4	大都市型	22%	766	723	73	106	110	-1%	-6%	45%	4%
南西部	702	10%	111	3%	6,326.4	大都市型	23%	699	658	70	108	112	0%	-6%	54%	4%
東部	1,122	16%	250	7%	4,490.7	大都市型	25%	1,089	975	112	187	179	-3%	-10%	67%	-4%
さいたま	1,245	17%	217	6%	5,725.2	大都市型	23%	1,241	1,168	127	191	211	0%	-6%	50%	10%
県央	529	7%	173	5%	3,059.4	大都市型	26%	510	453	57	90	89	-4%	-11%	58%	-1%
川越比企	794	11%	627	16%	1,267.7	地方都市型	26%	762	671	87	138	135	-4%	-12%	59%	-2%
西部	785	11%	406	11%	1,930.9	地方都市型	26%	754	665	89	142	146	-4%	-12%	60%	3%
利根	646	9%	474	12%	1,363.6	地方都市型	27%	604	510	74	113	112	-7%	-16%	53%	-1%
北部	511	7%	562	15%	908.5	地方都市型	26%	478	409	61	84	87	-6%	-14%	38%	4%
秩父	102	1%	893	23%	113.9	過疎地域型	31%	89	70	17	18	18	-13%	-21%	6%	0%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 11-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
埼玉県	0.68	0.67	14.9%	-30.9%	-33.3%
南部	0.72	0.46	20.5%	-15.5%	-20.8%
南西部	0.64	0.65	7.2%	-43.7%	-48.1%
東部	0.66	0.45	6.6%	-56.5%	-49.5%
さいたま	0.65	0.48	29.3%	-6.2%	-17.9%
県央	0.59	0.51	7.4%	-47.2%	-45.4%
川越比企	0.64	0.90	-7.5%	-70.9%	-67.3%
西部	0.74	1.42	-9.1%	-74.4%	-79.1%
利根	0.74	0.58	5.6%	-44.2%	-42.4%
北部	0.77	0.77	18.2%	-12.9%	-16.8%
秩父	0.43	0.81	13.7%	5.0%	8.8%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

11. 埼玉県

資_図表 11-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
埼玉県	282	43	194	35
南部	260	38	207	38
南西部	275	42	177	30
東部	274	41	170	28
さいたま	287	44	218	41
県央	291	45	179	31
川越比企	295	46	186	32
西部	284	44	183	32
利根	298	47	189	33
北部	293	46	229	44
秩父	293	46	246	49
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 11-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
埼玉県	342	4.0%	4.7	45	4,149	4.1%	58	39
南部	28	8%	3.6	43	416	10%	54	37
南西部	29	8%	4.1	44	344	8%	49	35
東部	47	14%	4.2	44	560	13%	50	35
さいたま	39	11%	3.1	41	872	21%	70	45
県央	19	6%	3.6	42	284	7%	54	37
川越比企	48	14%	6.0	48	446	11%	56	38
西部	54	16%	6.9	50	430	10%	55	37
利根	35	10%	5.4	47	336	8%	52	36
北部	34	10%	6.7	50	373	9%	73	47
秩父	9	3%	8.9	55	88	2%	87	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 11-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数											
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差										
全国	100,528		79	(19.6)																
埼玉県	4,149	4.1%	58	39	3,858	4.2%	54	40	291	3.1%	4.0	45								
南部	416	10%	54	37	390	10%	51	39	26	9%	3.4	44								
南西部	344	8%	49	35	327	8%	47	37	17	6%	2.4	43								
東部	560	13%	50	35	509	13%	45	36	51	18%	4.5	46								
さいたま	872	21%	70	45	822	21%	66	47	50	17%	4.0	45								
県央	284	7%	54	37	262	7%	50	38	22	8%	4.2	45								
川越比企	446	11%	56	38	411	11%	52	39	35	12%	4.4	46								
西部	430	10%	55	37	398	10%	51	39	32	11%	4.1	45								
利根	336	8%	52	36	311	8%	48	37	25	9%	3.9	45								
北部	373	9%	73	47	348	9%	68	48	25	9%	4.9	47								
秩父	88	2%	87	54	80	2%	79	54	8	3%	7.9	51								
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月											

資_図表 11-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数											
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差										
全国	1,573,772		1,243	(510)																
埼玉県	61,833	3.9%	858	42	3,336	2.7%	46	46	65,169	3.8%	904	42								
南部	5,053	8%	656	39	314	9%	41	45	5,367	8%	697	39								
南西部	4,881	8%	695	39	187	6%	27	44	5,068	8%	722	39								
東部	9,158	15%	816	42	523	16%	47	46	9,681	15%	863	42								
さいたま	7,873	13%	632	38	487	15%	39	45	8,360	13%	671	38								
県央	3,901	6%	737	40	320	10%	60	47	4,221	6%	798	41								
川越比企	9,403	15%	1,184	49	368	11%	46	46	9,771	15%	1,230	48								
西部	9,621	16%	1,226	50	404	12%	51	46	10,025	15%	1,277	49								
利根	5,767	9%	893	43	323	10%	50	46	6,090	9%	943	43								
北部	5,299	9%	1,037	46	313	9%	61	47	5,612	9%	1,099	46								
秩父	877	1%	863	43	97	3%	95	50	974	1%	958	43								
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計											

11. 埼玉県

資_図表 11-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
埼玉県	35,136	3.9%	488	40	12,095	3.7%	168	46	14,399	4.2%	200	47
南部	3,123	9%	405	37	922	8%	120	43	988	7%	128	44
南西部	2,908	8%	414	37	867	7%	124	44	1,106	8%	158	45
東部	5,369	15%	479	40	1,685	14%	150	45	2,104	15%	188	46
さいたま	5,335	15%	428	38	1,315	11%	106	43	1,193	8%	96	42
県央	2,348	7%	444	39	811	7%	153	45	742	5%	140	44
川越比企	4,879	14%	614	46	1,899	16%	239	49	2,615	18%	329	53
西部	4,505	13%	574	44	2,595	21%	331	53	2,521	18%	321	52
利根	3,559	10%	551	43	739	6%	114	43	1,385	10%	214	48
北部	2,653	8%	519	42	965	8%	189	47	1,622	11%	318	52
秩父	457	1%	450	39	297	2%	292	52	123	1%	121	43
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 11-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)
埼玉県	3,011	4.0%	42	46
南部	262	9%	34	45
南西部	196	7%	28	43
東部	707	23%	63	51
さいたま	310	10%	25	43
県央	185	6%	35	45
川越比企	536	18%	67	52
西部	445	15%	57	50
利根	239	8%	37	45
北部	96	3%	19	41
秩父	35	1%	34	45
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月			

資_図表 11-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
埼玉県	100,584	3.9%	1,396	43	53,916	5.1%	748	47
南部	8,652	9%	1,123	40	6,024	11%	782	48
南西部	6,552	7%	933	38	2,532	5%	361	34
東部	13,500	13%	1,203	41	8,832	16%	787	48
さいたま	19,260	19%	1,547	45	6,672	12%	536	40
県央	9,912	10%	1,873	48	5,940	11%	1,123	60
川越比企	17,088	17%	2,151	51	8,436	16%	1,062	58
西部	13,884	14%	1,769	47	5,604	10%	714	46
利根	6,396	6%	990	39	6,084	11%	942	54
北部	4,644	5%	909	38	2,988	6%	585	41
秩父	696	1%	685	36	804	1%	791	48
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 11-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
埼玉県	12,990	4.0%	180	41	8,066	3.9%	112	42	4,924	4.0%	68	41
南部	1,282	10%	166	40	767	10%	100	40	515	10%	67	40
南西部	916	7%	131	35	556	7%	79	37	360	7%	51	35
東部	1,886	15%	168	40	1,219	15%	109	42	667	14%	59	38
さいたま	2,301	18%	185	42	1,353	17%	109	42	948	19%	76	43
県央	927	7%	175	40	553	7%	105	41	374	8%	71	42
川越比企	2,016	16%	254	49	1,421	18%	179	52	595	12%	75	43
西部	1,636	13%	208	44	1,088	13%	139	46	548	11%	70	41
利根	973	7%	151	38	554	7%	86	38	419	9%	65	40
北部	870	7%	170	40	478	6%	93	39	393	8%	77	44
秩父	183	1%	180	41	77	1%	76	37	106	2%	104	53
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

11. 埼玉県

資_図表 11-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
埼玉県	40,407	3.8%	561	40	34,056	3.8%	473	40	6,352	3.5%	88	43
南部	3,531	9%	458	37	3,002	9%	390	37	529	8%	69	40
南西部	2,976	7%	424	35	2,566	8%	366	36	411	6%	59	39
東部	5,698	14%	508	38	4,831	14%	431	39	867	14%	77	41
さいたま	6,365	16%	511	38	5,222	15%	419	38	1,143	18%	92	43
県央	3,144	8%	594	41	2,467	7%	466	40	677	11%	128	48
川越比企	6,041	15%	760	47	5,265	15%	663	48	776	12%	98	44
西部	5,225	13%	666	44	4,590	13%	585	45	636	10%	81	42
利根	3,662	9%	567	40	3,064	9%	474	41	598	9%	93	43
北部	3,198	8%	626	42	2,614	8%	512	42	584	9%	114	46
秩父	568	1%	559	40	436	1%	429	39	132	2%	130	48
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 11-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
埼玉県	4,539	4.1%	63	45	13,712	4.9%	190	47
南部	350	8%	45	41	1,253	9%	163	44
南西部	338	7%	48	42	1,089	8%	155	43
東部	859	19%	77	48	1,751	13%	156	43
さいたま	469	10%	38	40	3,341	24%	268	55
県央	348	8%	66	45	927	7%	175	45
川越比企	733	16%	92	51	1,771	13%	223	50
西部	787	17%	100	52	1,400	10%	178	45
利根	364	8%	56	44	1,062	8%	164	44
北部	228	5%	45	41	992	7%	194	47
秩父	64	1%	63	45	126	1%	124	40
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 11-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
埼玉県	486	3.4%	0.6	45	37	3.6%	0.0	48
南部	50	10%	0.7	46	5	14%	0.1	51
南西部	31	6%	0.4	41	3	8%	0.0	47
東部	48	10%	0.4	40	5	14%	0.0	47
さいたま	155	32%	1.2	58	3	8%	0.0	43
県央	36	7%	0.6	45	3	8%	0.1	48
川越比企	49	10%	0.6	43	6	16%	0.1	51
西部	56	12%	0.6	45	6	16%	0.1	51
利根	27	6%	0.4	39	2	5%	0.0	44
北部	32	7%	0.5	42	4	11%	0.1	51
秩父	2	0%	0.1	33	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 11-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
埼玉県	83,541	5.3%	109	58	46,010	4.8%	60	51	37,531	6.2%	49	59
南部	8,905	11%	122	66	3,977	9%	55	47	4,928	13%	68	72
南西部	7,369	9%	105	56	4,282	9%	61	52	3,087	8%	44	55
東部	11,788	14%	106	56	5,713	12%	51	44	6,075	16%	54	62
さいたま	16,983	20%	134	73	7,779	17%	61	52	9,204	25%	73	75
県央	5,789	7%	102	54	4,028	9%	71	60	1,761	5%	31	46
川越比企	7,922	9%	92	48	4,672	10%	54	46	3,250	9%	38	51
西部	7,909	9%	89	46	5,236	11%	59	50	2,673	7%	30	45
利根	7,287	9%	98	52	4,863	11%	66	55	2,424	6%	33	47
北部	7,880	9%	130	71	4,196	9%	69	58	3,684	10%	61	67
秩父	1,709	2%	102	54	1,264	3%	76	63	445	1%	27	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

11. 埼玉県

資_図表 11-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
埼玉県	16,468	4.6%	22	50	27,766	5.1%	36	53	1,776	2.6%	2.3	45
南部	1,201	7%	17	41	2,461	9%	34	51	315	18%	4.3	50
南西部	1,922	12%	27	60	2,288	8%	33	50	72	4%	1.0	42
東部	2,149	13%	19	46	3,221	12%	29	46	343	19%	3.1	47
さいたま	2,692	16%	21	49	4,771	17%	38	55	316	18%	2.5	46
県央	1,554	9%	27	60	2,474	9%	44	61	0	0%	0	40
川越比企	1,641	10%	19	45	2,970	11%	34	52	61	3%	0.7	42
西部	1,936	12%	22	50	2,766	10%	31	48	534	30%	6.0	54
利根	1,622	10%	22	50	3,195	12%	43	60	46	3%	0.6	41
北部	1,370	8%	23	51	2,775	10%	46	63	51	3%	0.8	42
秩父	381	2%	23	52	845	3%	51	67	38	2%	2.3	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
埼玉県	18,304	8.7%	23.9	61	864	4.2%	1.1	49	6,536	3.5%	8.5	45
南部	3,023	17%	41.5	79	0	0%	0	43	767	12%	10.5	49
南西部	1,241	7%	17.7	55	30	3%	0.4	46	555	8%	7.9	44
東部	3,386	18%	30.3	68	50	6%	0.4	46	942	14%	8.4	45
さいたま	5,923	32%	46.7	84	124	14%	1.0	49	898	14%	7.1	42
県央	698	4%	12.3	50	0	0%	0	43	465	7%	8.2	44
川越比企	953	5%	11.0	48	50	6%	0.6	46	810	12%	9.4	47
西部	1,116	6%	12.6	50	120	14%	1.4	51	434	7%	4.9	39
利根	918	5%	12.4	50	150	17%	2.0	54	638	10%	8.6	45
北部	876	5%	14.4	52	290	34%	4.8	69	865	13%	14.2	55
秩父	170	1%	10.2	47	50	6%	3.0	59	162	2%	9.7	47
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
埼玉県	11,827	6.2%	15.5	56	1,415	15.1%	1.9	60	10,412	5.8%	13.6	55
南部	1,138	10%	15.6	57	21	1%	0.3	48	1,117	11%	15.4	57
南西部	1,261	11%	18.0	60	229	16%	3.3	72	1,032	10%	14.7	56
東部	1,697	14%	15.2	56	208	15%	1.9	60	1,489	14%	13.3	54
さいたま	2,259	19%	17.8	60	491	35%	3.9	77	1,768	17%	13.9	55
県央	598	5%	10.6	48	0	0%	0	45	598	6%	10.6	49
川越比企	1,437	12%	16.6	58	240	17%	2.8	68	1,197	11%	13.8	55
西部	1,003	8%	11.3	50	80	6%	0.9	53	923	9%	10.4	49
利根	718	6%	9.7	47	96	7%	1.3	56	622	6%	8.4	46
北部	1,653	14%	27.2	75	50	4%	0.8	52	1,603	15%	26.4	76
秩父	63	1%	3.8	37	0	0%	0	45	63	1%	3.8	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
埼玉県	6,227	4.1%	8.1	45	4,799	4.1%	6.3	47	1,428	3.8%	1.9	45
南部	642	10%	8.8	48	486	10%	6.7	48	156	11%	2.1	48
南西部	488	8%	7.0	41	398	8%	5.7	44	91	6%	1.3	38
東部	880	14%	7.9	44	663	14%	5.9	45	218	15%	1.9	46
さいたま	1,230	20%	9.7	51	935	19%	7.4	51	295	21%	2.3	51
県央	407	7%	7.2	41	325	7%	5.7	44	81	6%	1.4	40
川越比企	589	9%	6.8	40	420	9%	4.9	40	169	12%	2.0	46
西部	770	12%	8.7	47	607	13%	6.8	49	164	11%	1.8	45
利根	563	9%	7.6	43	424	9%	5.7	44	139	10%	1.9	45
北部	508	8%	8.3	46	416	9%	6.8	49	92	6%	1.5	41
秩父	150	2%	8.9	48	126	3%	7.5	52	24	2%	1.4	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

11. 埼玉県

資_図表 11-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア
全国	1,449,644	88	(15.7)		1,230,764	75	(14.6)		218,879	13.3	(5.4)	
埼玉県	62,617	4.3%	82	46	54,894	4.5%	72	48	7,723	3.5%	10.1	44
南部	6,523	10%	90	51	5,519	10%	76	51	1,004	13%	13.8	51
南西部	5,320	8%	76	42	4,681	9%	67	45	639	8%	9.1	42
東部	8,250	13%	74	41	7,085	13%	63	42	1,165	15%	10.4	45
さいたま	11,205	18%	88	50	9,746	18%	77	51	1,459	19%	11.5	47
県央	4,610	7%	81	46	4,140	8%	73	49	470	6%	8.3	41
川越比企	6,340	10%	73	41	5,528	10%	64	43	812	11%	9.4	43
西部	6,624	11%	75	41	5,807	11%	65	44	817	11%	9.2	42
利根	6,164	10%	83	47	5,540	10%	75	50	624	8%	8.4	41
北部	5,957	10%	98	56	5,376	10%	88	59	581	8%	9.6	43
秩父	1,625	3%	97	56	1,473	3%	88	59	152	2%	9.1	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア
全国	733,366	45	(24)		349,081	21	(9)		1,423,393	86	(30)	
埼玉県	21,704	3.0%	28	43	12,206	3.5%	16	44	50,553	3.6%	66	43
南部	4,052	19%	56	55	1,509	12%	21	49	6,351	13%	87	50
南西部	715	3%	10	36	1,065	9%	15	43	4,285	8%	61	42
東部	1,904	9%	17	39	2,022	17%	18	47	7,455	15%	67	44
さいたま	6,658	31%	52	53	2,563	21%	20	49	9,557	19%	75	46
県央	944	4%	17	38	607	5%	11	39	3,141	6%	55	40
川越比企	2,820	13%	33	45	1,168	10%	14	42	5,307	10%	61	42
西部	1,906	9%	21	40	1,586	13%	18	46	6,032	12%	68	44
利根	996	5%	13	37	916	8%	12	40	3,845	8%	52	39
北部	1,530	7%	25	42	575	5%	9	37	3,506	7%	58	41
秩父	179	1%	11	36	195	2%	12	40	1,074	2%	64	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
埼玉県	14,408	11,870	241	47,516	23,908	11,439	33.2%	42	2.1%	47
南部	1,073	1,053	0	4,052	2,102	962	33.4%	42	0.0%	46
南西部	350	350	0	4,511	2,538	867	12.1%	33	0.0%	46
東部	1,283	1,283	0	7,821	4,197	1,640	23.4%	38	0.0%	46
さいたま	2,391	2,116	0	5,501	3,278	1,275	39.2%	45	0.0%	46
県央	1,185	623	0	2,790	1,799	811	25.7%	39	0.0%	46
川越比企	2,679	1,870	84	6,832	3,097	1,835	37.6%	44	4.4%	48
西部	2,034	1,988	0	7,605	2,835	2,279	41.2%	45	0.0%	46
利根	1,161	1,077	0	4,488	2,473	665	30.3%	41	0.0%	46
北部	1,992	1,300	107	3,299	1,342	858	49.2%	49	11.1%	51
秩父	260	210	50	617	247	247	46.0%	47	16.8%	53
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

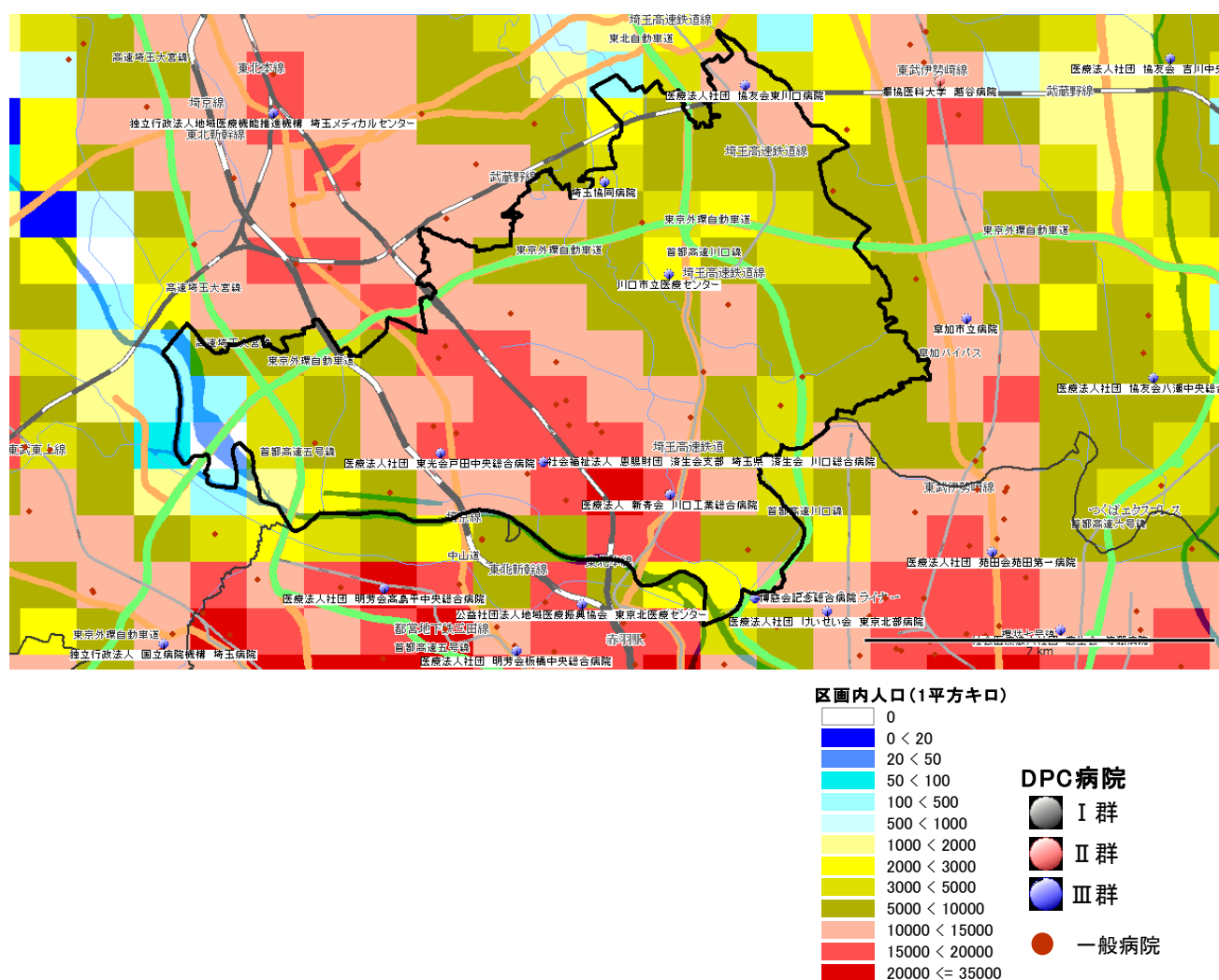
11. 埼玉県

なんふ

11-1. 南部医療圏

構成市区町村¹ 川口市,蕨市,戸田市

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南部医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(川口市)は、総人口約 770 千人(2015 年推計)、面積 85 km²、人口密度は 9036 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は 2025 年に 766 千人へと減少し(2015 年比-1%)、2040 年に 723 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 73 千人が、2025 年にかけて 106 千人へと増加し(2015 年比+45%)、2040 年には 110 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は 260 千円(偏差値 38)、介護給付費は 207 千円(偏差値 38)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.72、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.46 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 40、診療所医師数 40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 37 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 37 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の川口市立医療センター(救命)、1000 例以上の川口総合病院、埼玉協同病院、東光会戸田中央総合病院、500 例以上の川口工業総合病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 41 と少なく、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 37 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8905 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3977 床(偏差値 47)、高齢者住宅等が 4928 床(偏差値 72)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5519 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 41、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 79、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 49、サ高住 57 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 46 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、1004 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

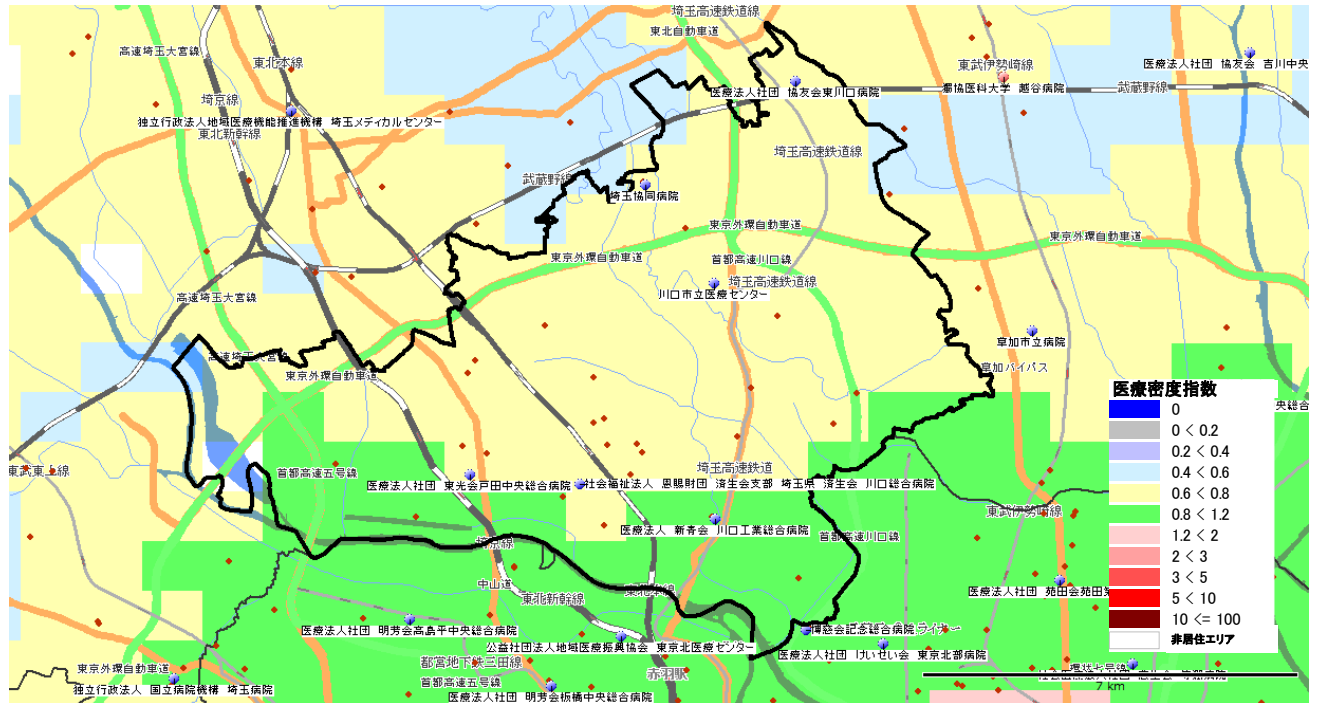
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+20%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は-21%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推定）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

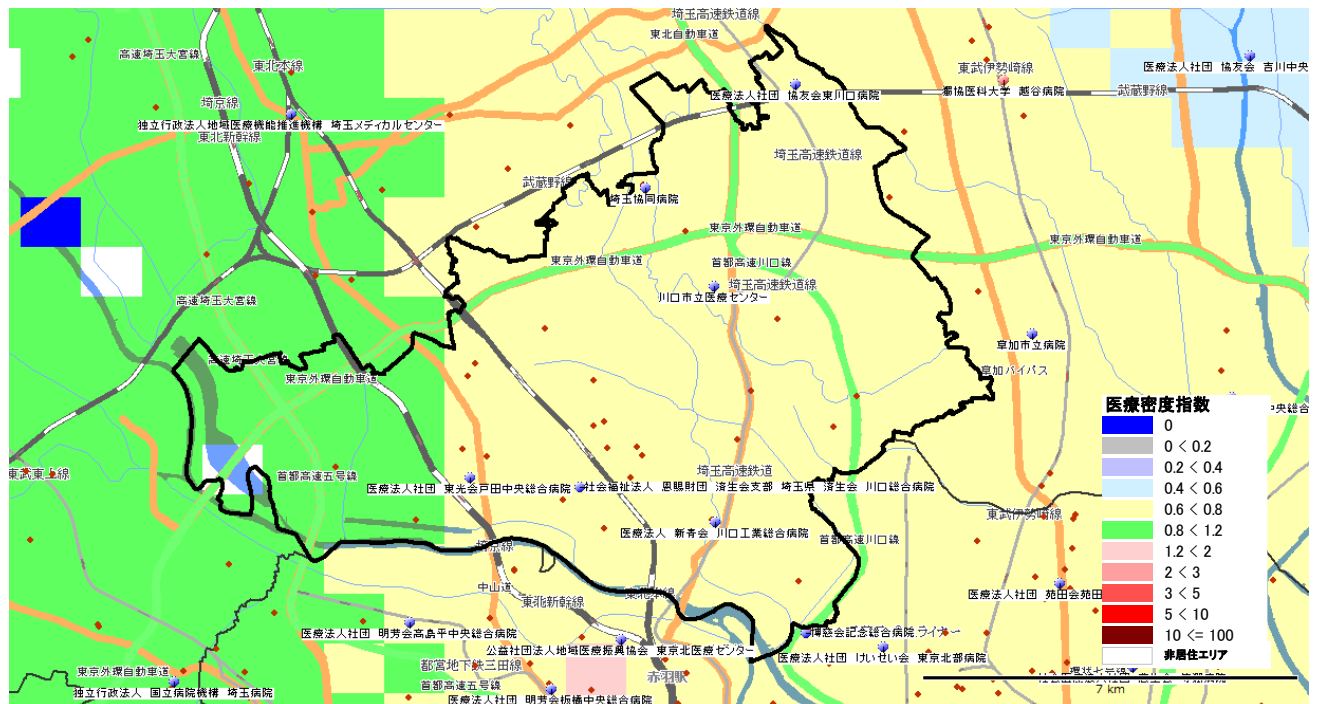
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-1-2 慢性期医療密度指数マップ

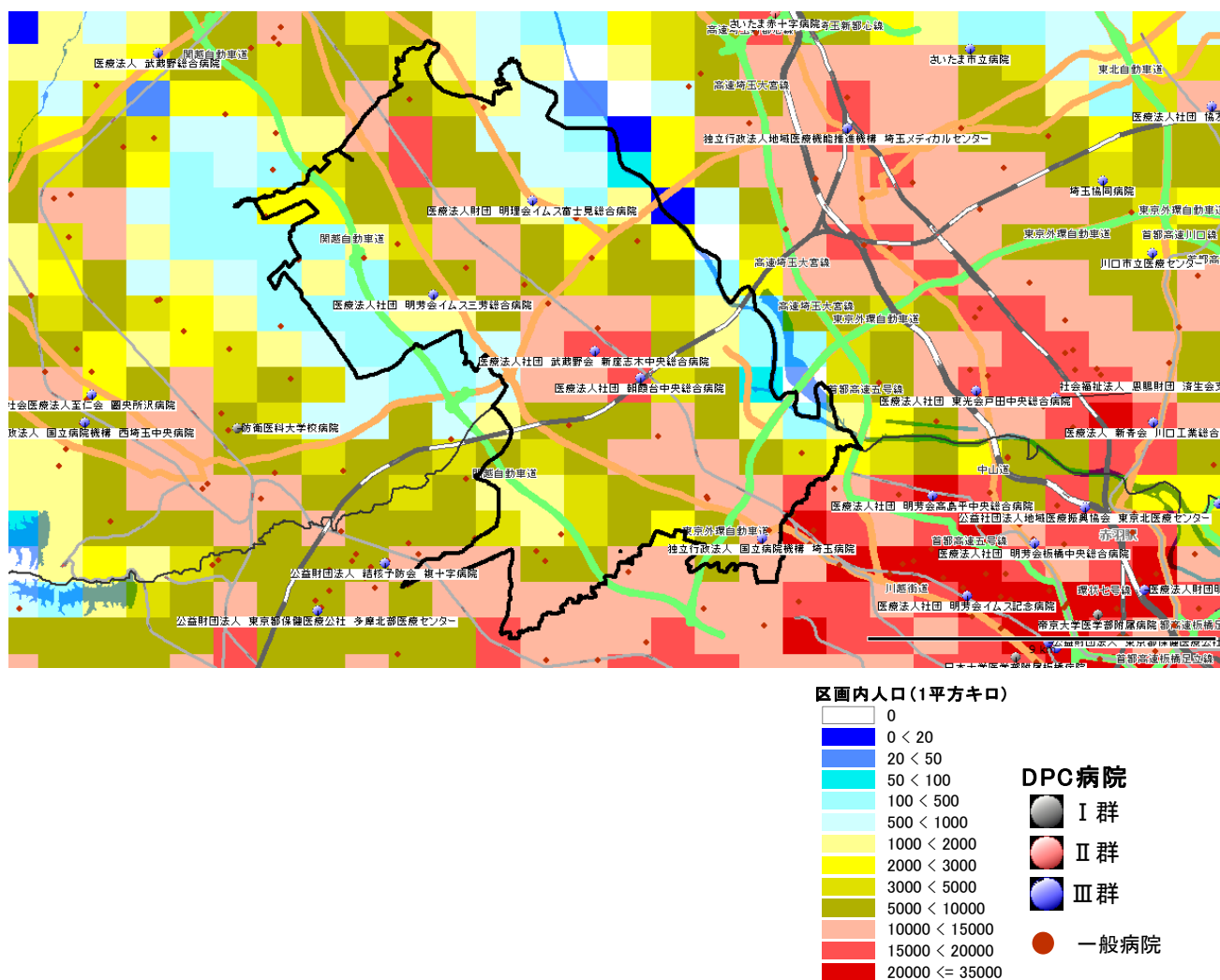


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-2. なんせいぶ 南西部医療圏

構成市区町村¹ 朝霞市, 志木市, 和光市, 新座市, 富士見市, ふじみ野市, 三芳町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南西部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南西部(富士見市)は、総人口約 702 千人(2015 年推計)、面積 111 km²、人口密度は 6326 人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南西部の総人口は 2025 年に 699 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年に 658 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 70 千人が、2025 年にかけて 108 千人へと増加し(2015 年比+54%)、2040 年には 112 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南西部の一人当たり医療費(国保)は 275 千円(偏差値 42)、介護給付費は 177 千円(偏差値 30)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南西部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.65 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 35(病院医師数 37、診療所医師数 35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 35 と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 37 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。南西部には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の埼玉病院、朝霞中央総合病院、500 例以上の新座志木中央総合病院、イムス富士見総合病院、イムス三芳総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 44 と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 42 と少なく、回復期病床数は偏差値 43 と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 35 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7369 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4282 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 3087 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4681 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 60、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 42、有料老人ホーム 55、軽費ホーム 46、グループホーム 44、サ高住 60 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 47 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

やや少ない。介護職員（在宅）の合計は、639人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

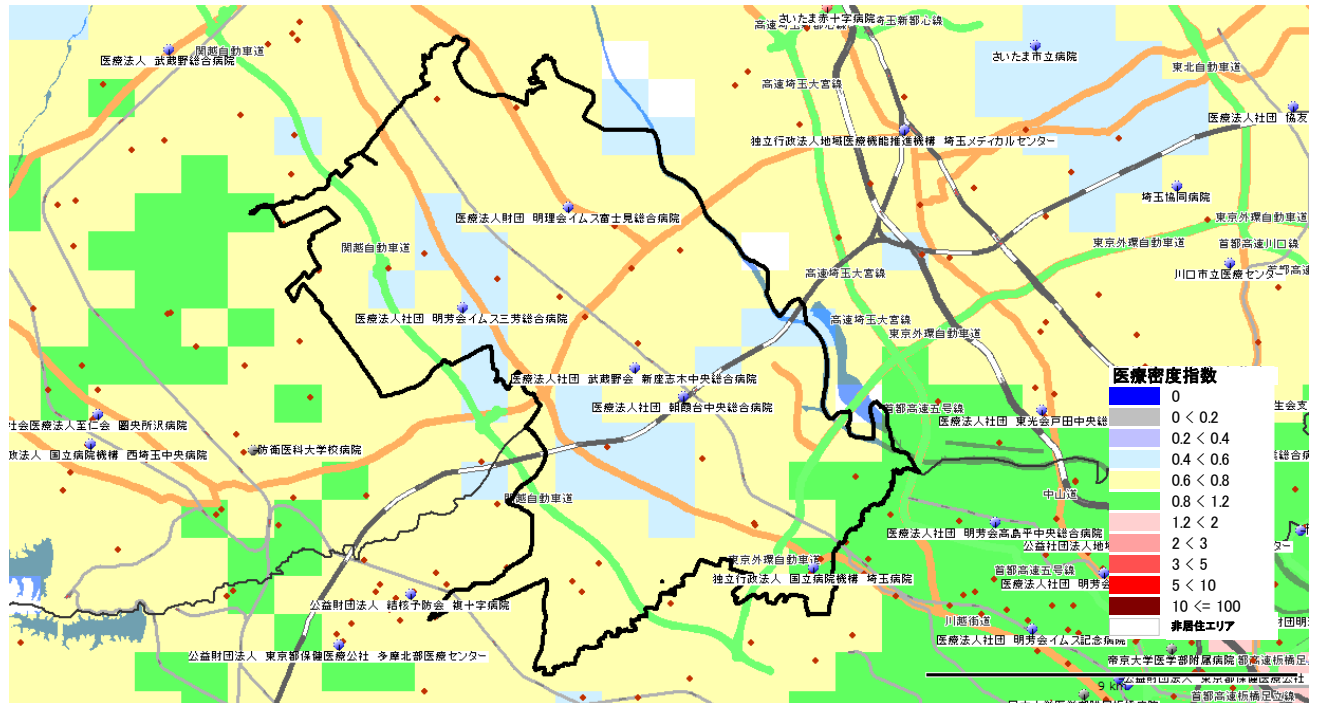
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-48%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

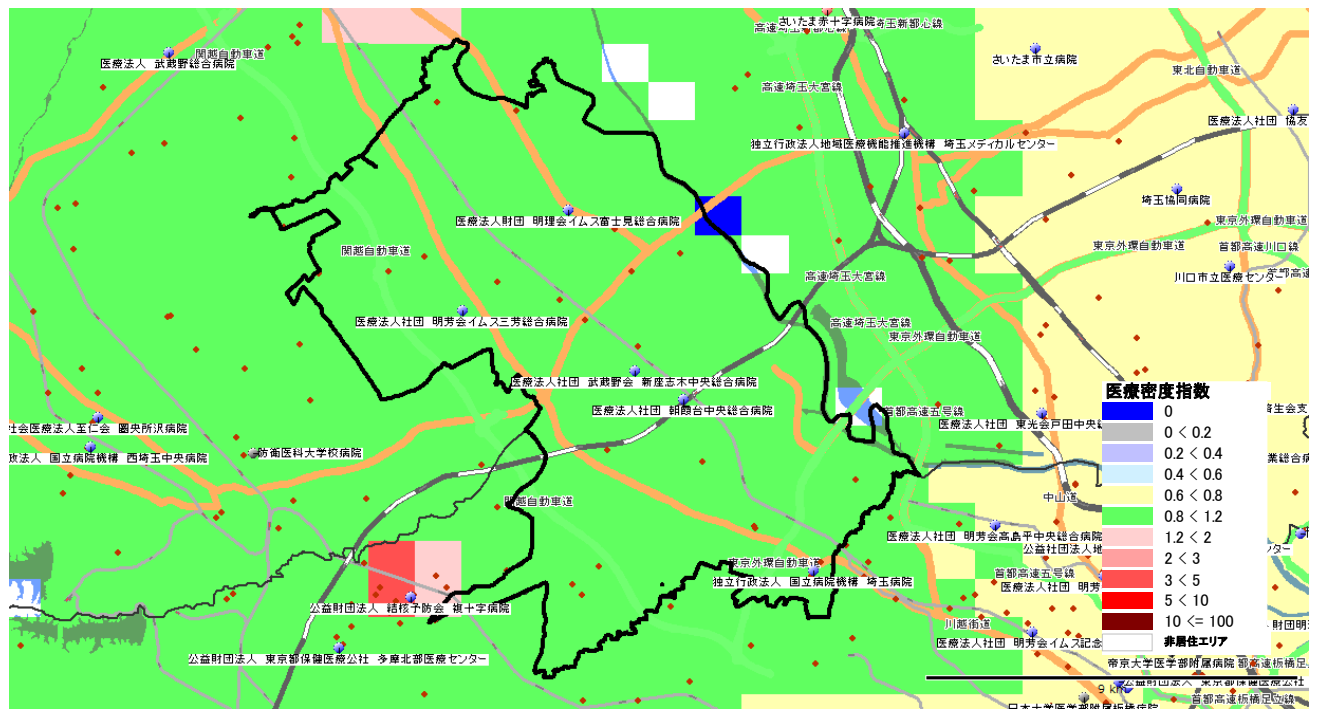
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-2-2 慢性期医療密度指数マップ

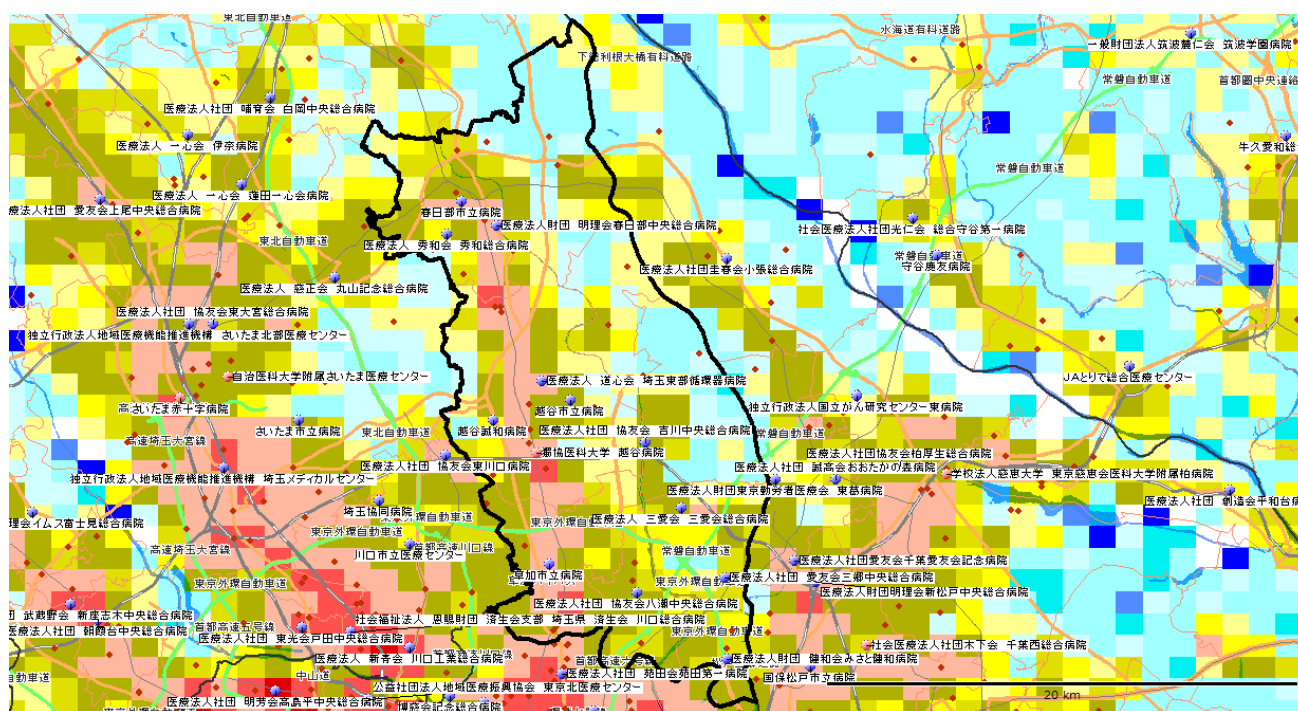


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

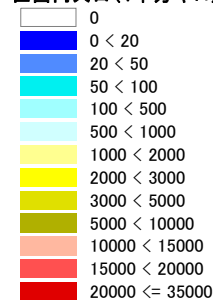
11-3. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村¹ 春日部市,草加市,越谷市,八潮市,三郷市,吉川市,松伏町

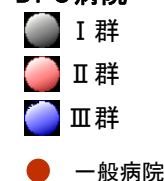
人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 東部医療圏を 1 km²区画 (1 km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査 (平成 22 年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

11. 埼玉県

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 東部(草加市)は、総人口約 1122 千人(2015 年推計)、面積 250 km²、人口密度は 4491 人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 東部の総人口は 2025 年に 1089 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 975 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 112 千人が、2025 年にかけて 187 千人へと増加し(2015 年比+67%)、2040 年には 179 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 東部の一人当たり医療費(国保)は 274 千円(偏差値 41)、介護給付費は 170 千円(偏差値 28)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 東部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.66、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.45 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 42、診療所医師数 38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 38 と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の越谷市立病院、越谷病院(Ⅱ群・救命)、1000 例以上の春日部中央総合病院、草加市立病院、500 例以上のみさと健和病院、秀和総合病院、春日部市立病院、越谷誠和病院、三郷中央総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 46 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 35 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11788 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 5713 床(偏差値 44)、高齢者住宅等が 6075 床(偏差値 62)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7085 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 47、有料老人ホーム 68、軽費ホーム 46、グループホーム 45、サ高住 56 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、1165 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

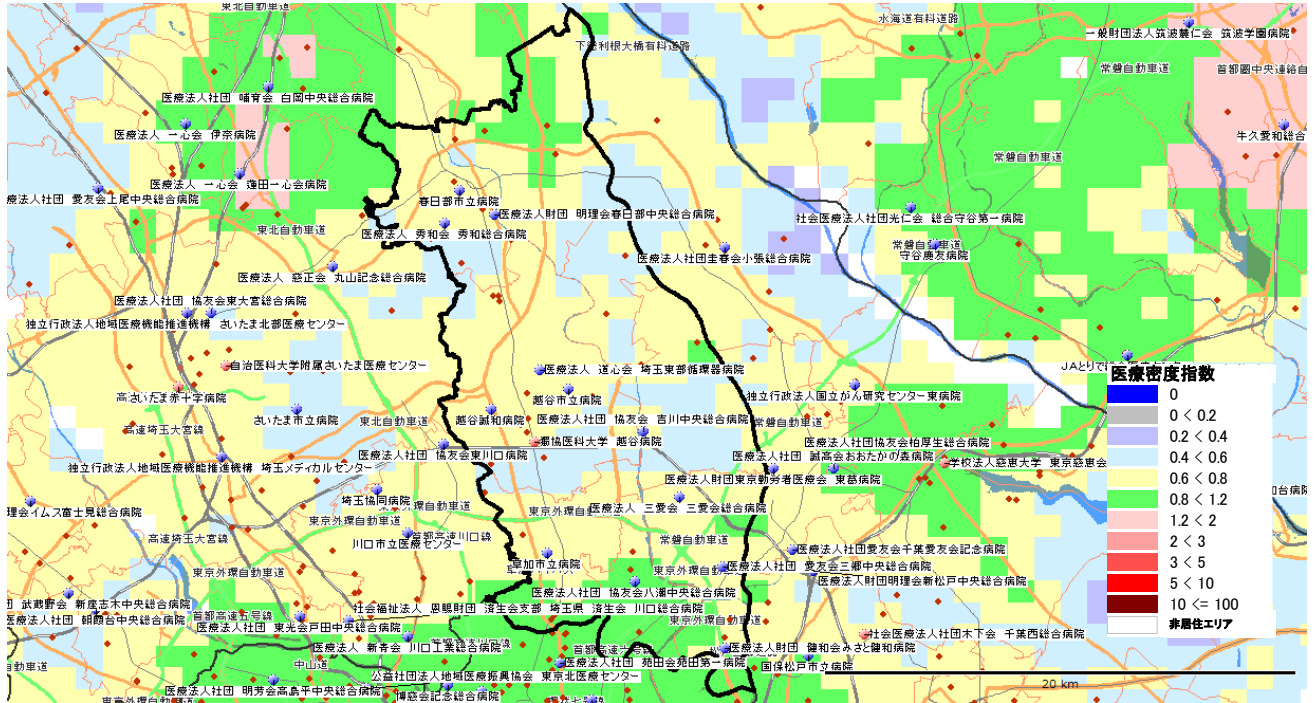
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-49%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-3-2 慢性期医療密度指数マップ

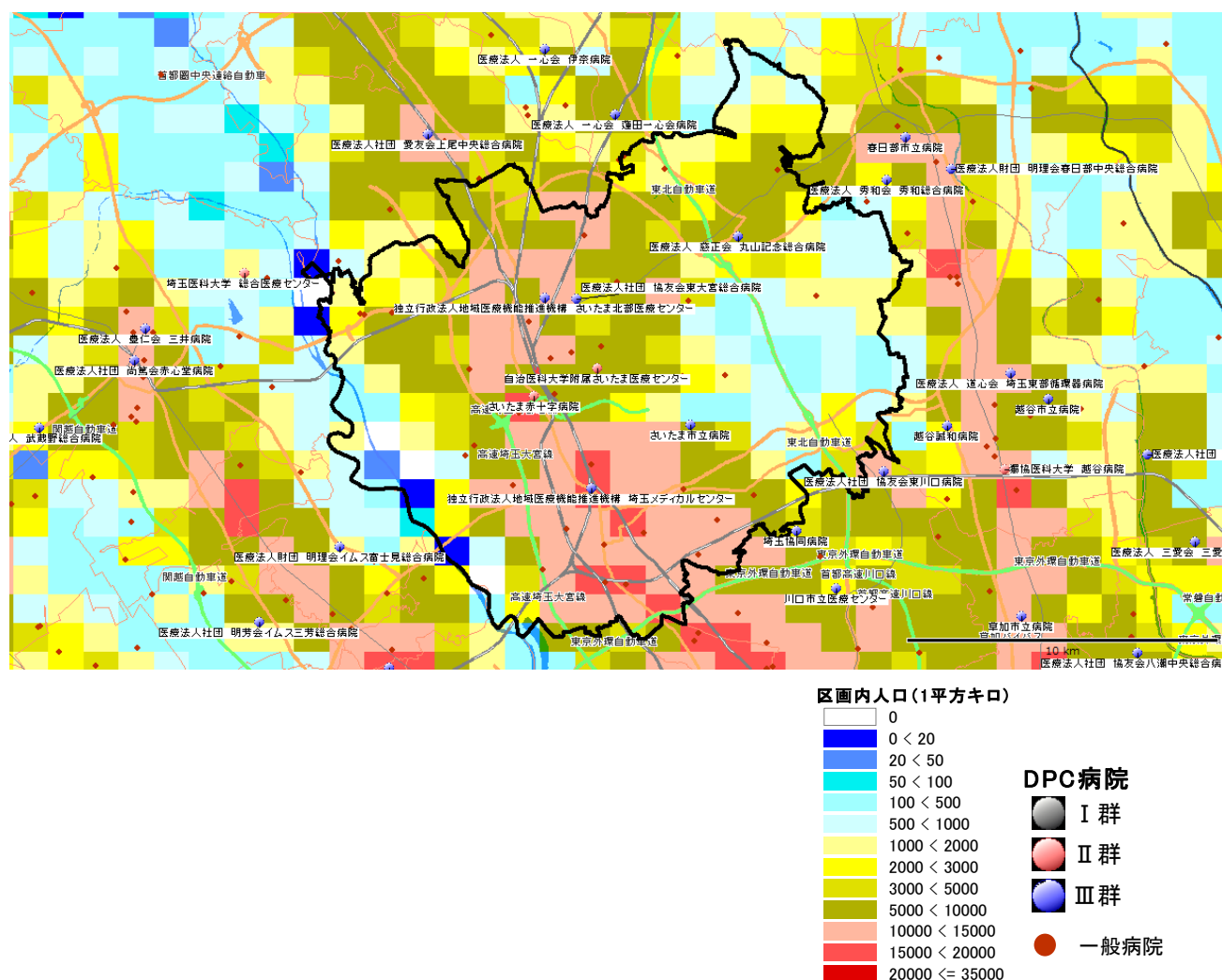


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-4. さいたま医療圏

構成市区町村¹ 西区,北区,大宮区,見沼区,中央区,桜区,浦和区,南区,緑区,岩槻区

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² さいたま医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(さいたま医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：さいたま(さいたま市)は、総人口約 1245 千人(2015 年推計)、面積 217 km²、人口密度は 5725 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：さいたまの総人口は2025年に1241千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1168千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には211千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：さいたまの一人当たり医療費(国保)は287千円(偏差値44)、介護給付費は218千円(偏差値41)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：さいたまの一人当たり急性期医療密度指数³は0.65、一人当たり慢性期医療密度指数は0.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。さいたまには、年間全身麻酔件数が2000例以上のさいたま市立病院、さいたま赤十字病院(Ⅱ群・救命)、さいたま医療センター(Ⅱ群)、1000例以上の埼玉メディカルセンター、500例以上の東大宮総合病院、丸山記念総合病院がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：さいたまの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16983人(75歳以上1000人当たりの偏差値73)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が7779床(偏差値52)、高齢者住宅等が9204床(偏差値75)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9746人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム84、軽費ホーム49、グループホーム42、サ高住60である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 58 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1459 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

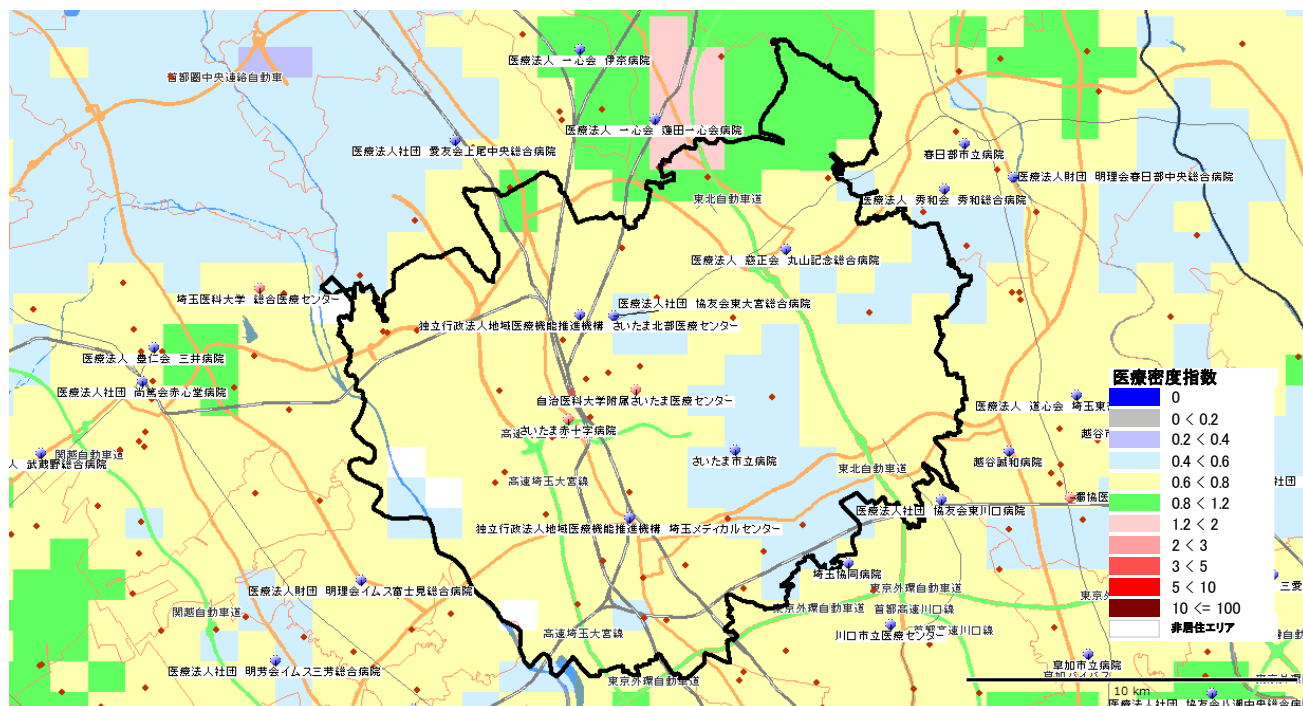
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+29%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は-18%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

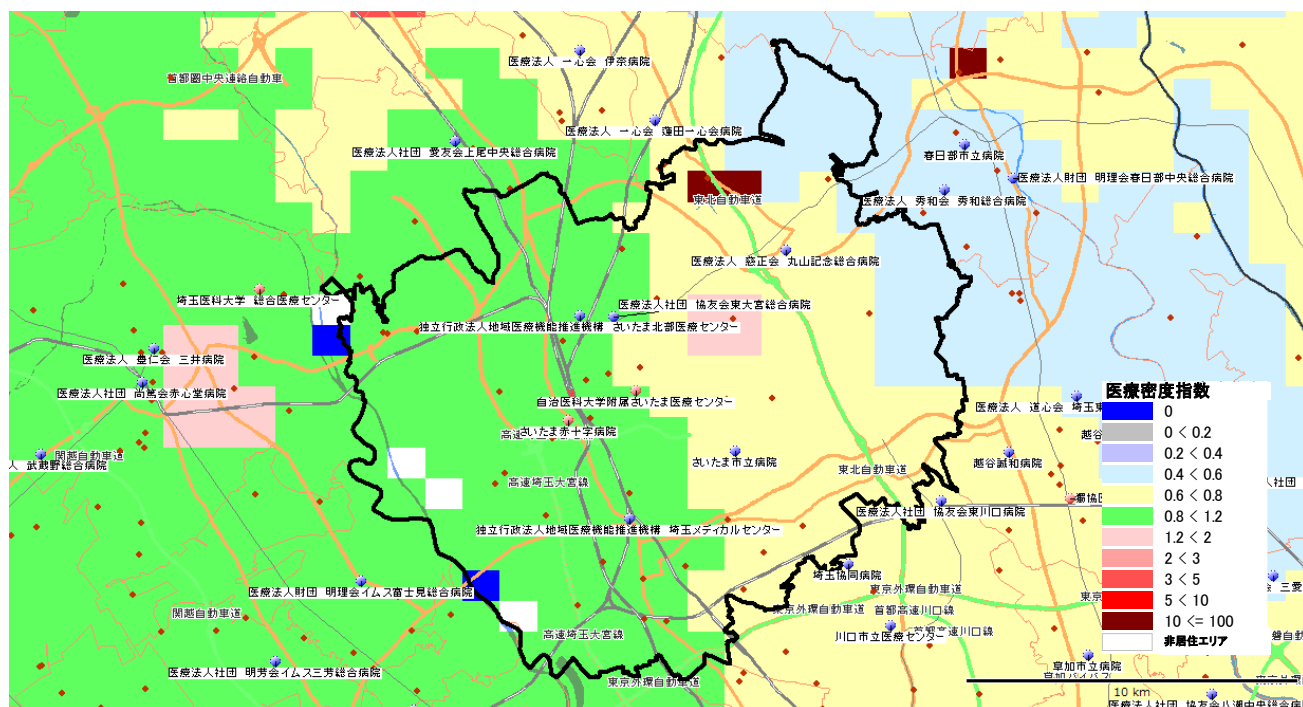
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-4-2 慢性期医療密度指数マップ

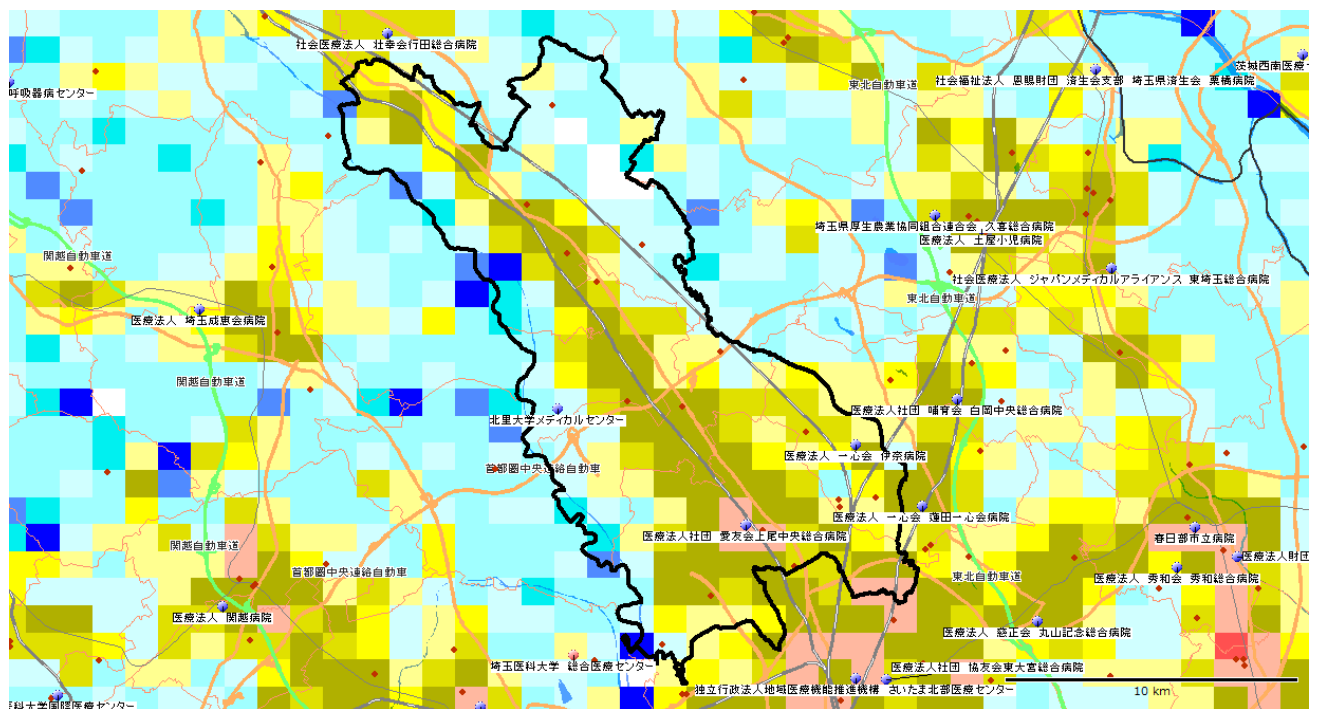


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-5. けんおう 県央医療圏

構成市区町村¹ 鴻巣市, 上尾市, 桶川市, 北本市, 伊奈町

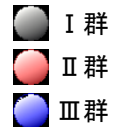
人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 県央医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

11. 埼玉県

(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(上尾市)は、総人口約 529 千人(2015 年推計)、面積 173 km²、人口密度は 3059 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は 2025 年に 510 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 453 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 57 千人が、2025 年にかけて 90 千人へと増加し(2015 年比+58%)、2040 年には 89 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は 291 千円(偏差値 45)、介護給付費は 179 千円(偏差値 31)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.59、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.51 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 41、診療所医師数 42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 41 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 39 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の上尾中央総合病院、1000 例以上の北里大学メディカルセンター、500 例以上の伊奈病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 45 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 37 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5789 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4028 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 1761 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4140 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 60、特別養護老人ホーム 61、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 50、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 44、サ高住 48 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、470 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

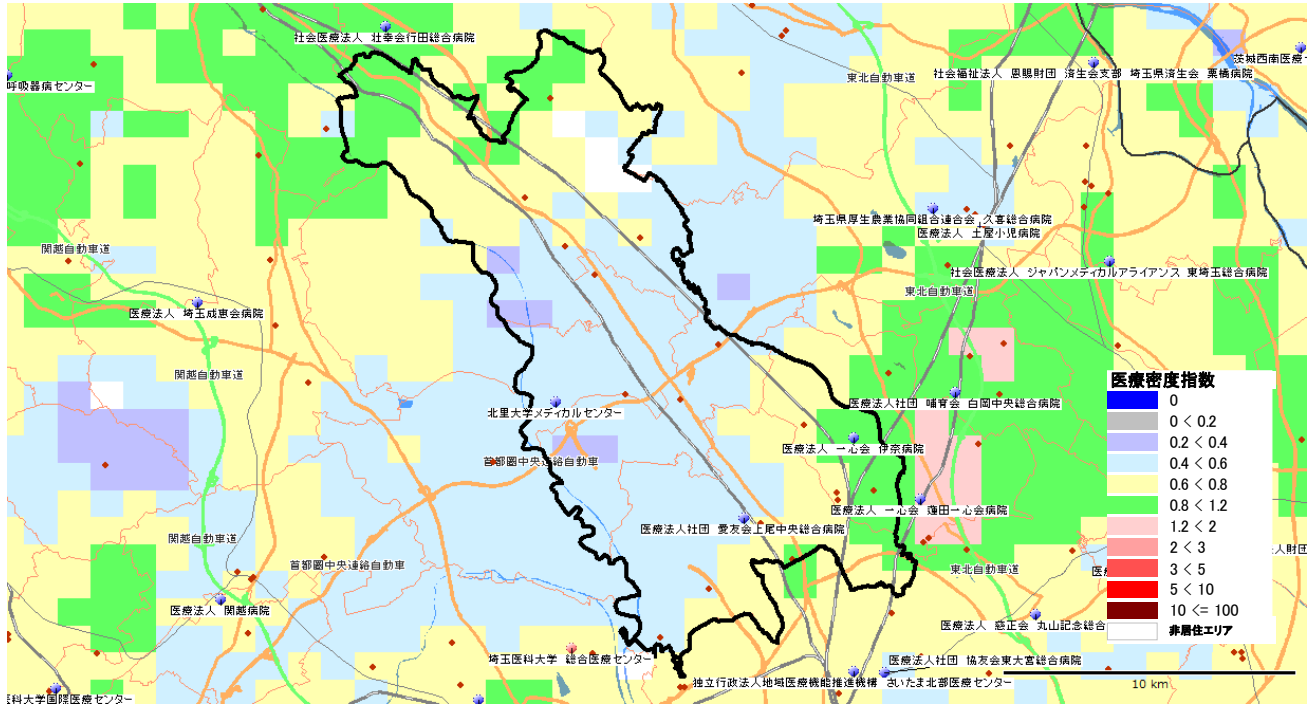
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-45%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

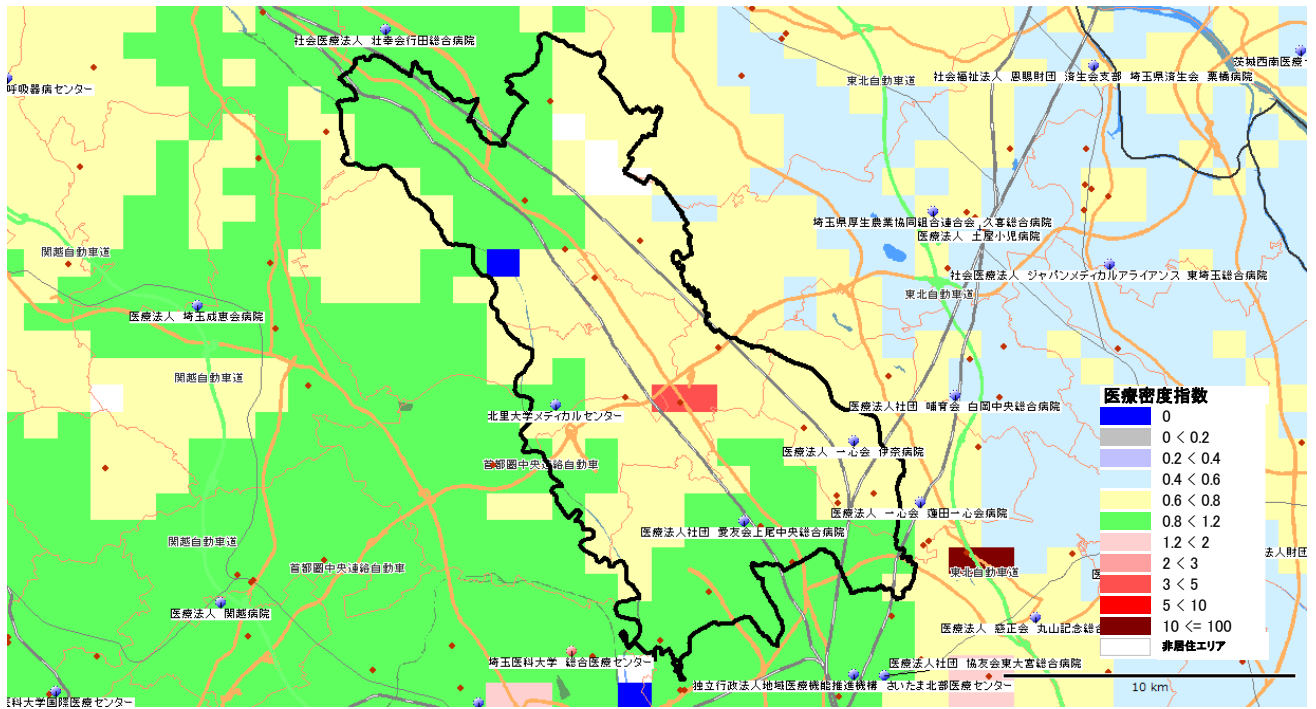
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-5-2 慢性期医療密度指数マップ

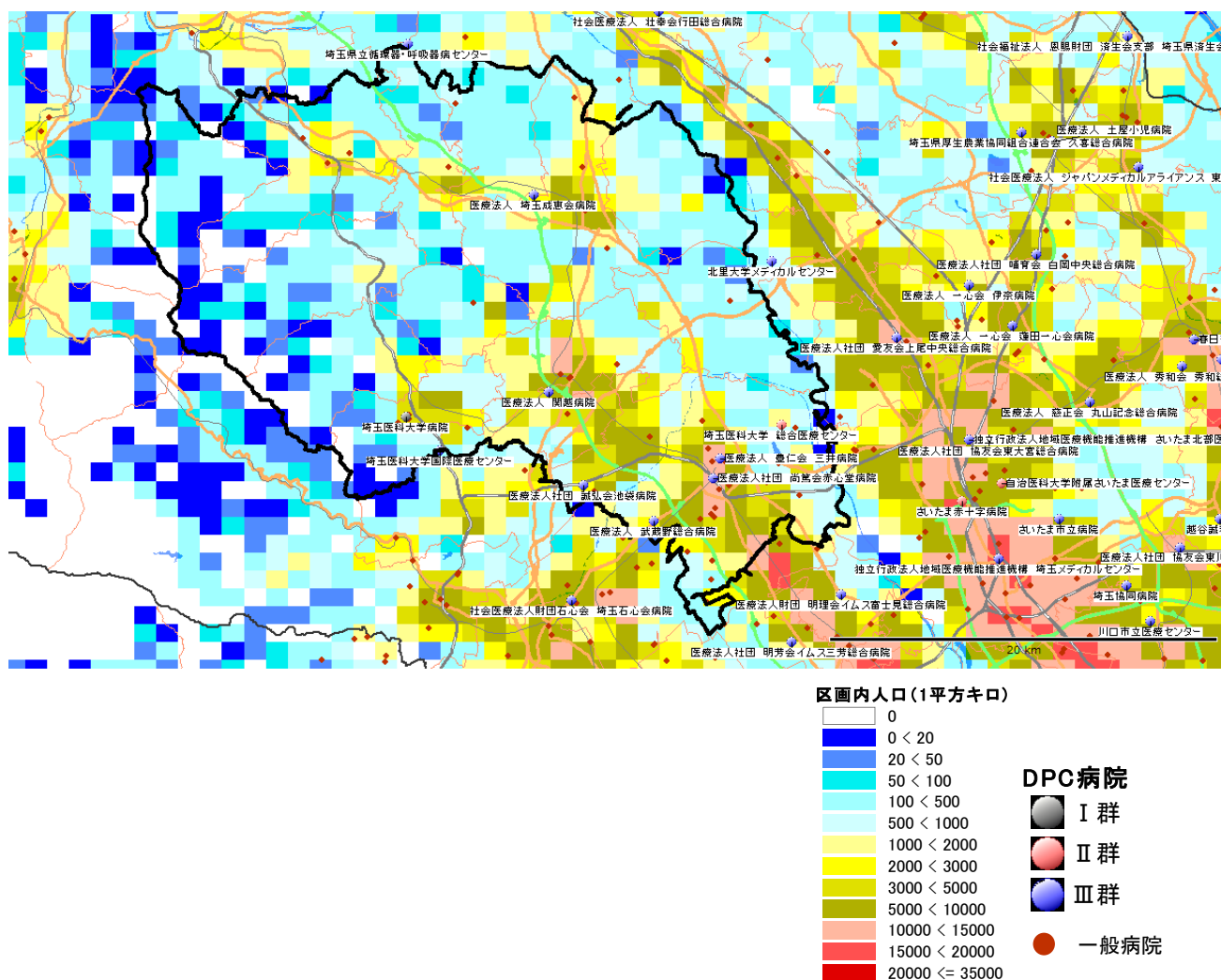


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-6. 川越比企医療圏

構成市区町村¹ 川越市,東松山市,坂戸市,鶴ヶ島市,毛呂山町,越生町,滑川町,嵐山町,小川町,川島町,吉見町,鳩山町,ときがわ町,東秩父村

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 川越比企医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所：国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

11. 埼玉県

(川越比企医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 川越比企(鶴ヶ島市)は、総人口約 794 千人(2015 年推計)、面積 627 km²、人口密度は 1268 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 川越比企の総人口は 2025 年に 762 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 671 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 87 千人が、2025 年にかけて 138 千人へと増加し(2015 年比+59%)、2040 年には 135 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 川越比企の一人当たり医療費(国保)は 295 千円(偏差値 46)、介護給付費は 186 千円(偏差値 32)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 川越比企の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.9 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 52、診療所医師数 43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 46 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。川越比企には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の埼玉医科大学病院(I 群)、埼玉医科大学総合医療センター(II 群・救命)、1000 例以上の赤心堂病院、500 例以上の埼玉成恵会病院、三井病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 49 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 38 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 川越比企の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7922 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 4672 床(偏差値 46)、高齢者住宅等が 3250 床(偏差値 51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5528 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 45、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 42、有料老人ホーム 48、軽費ホーム 46、グループホーム 47、サ高住 58 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 43 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、812 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

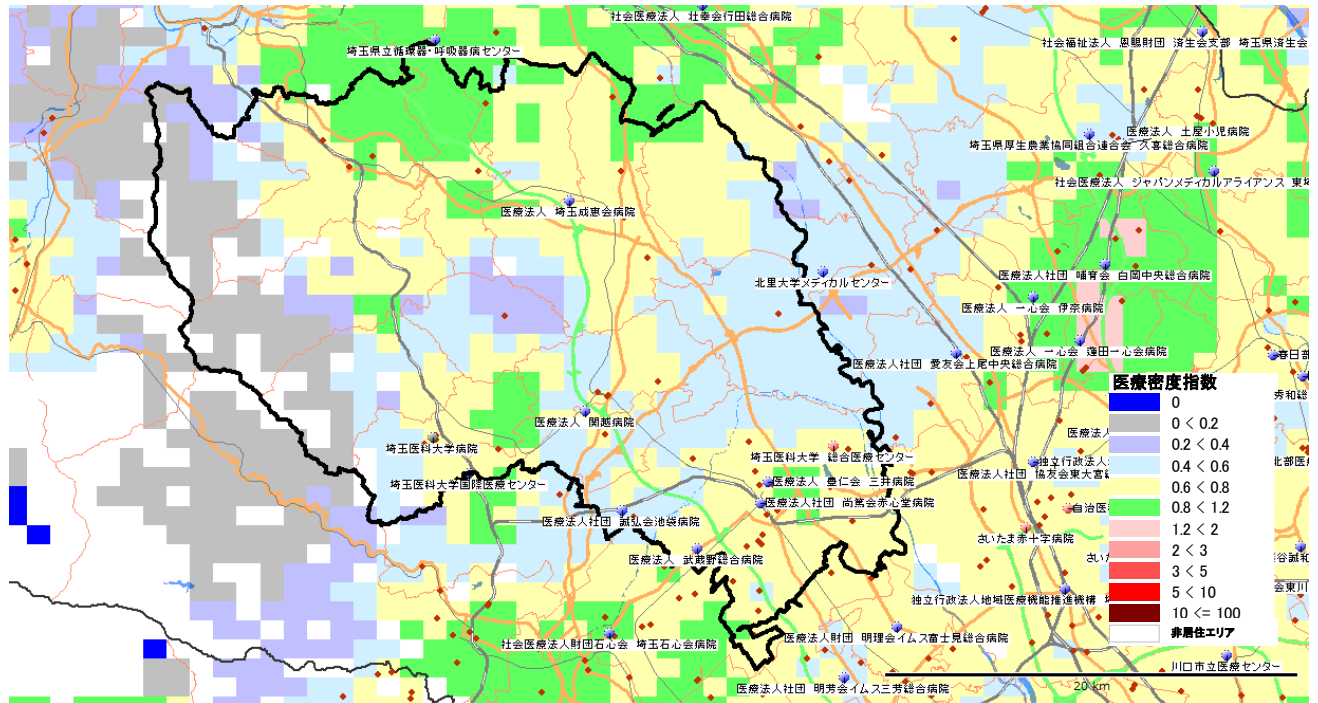
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－67%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

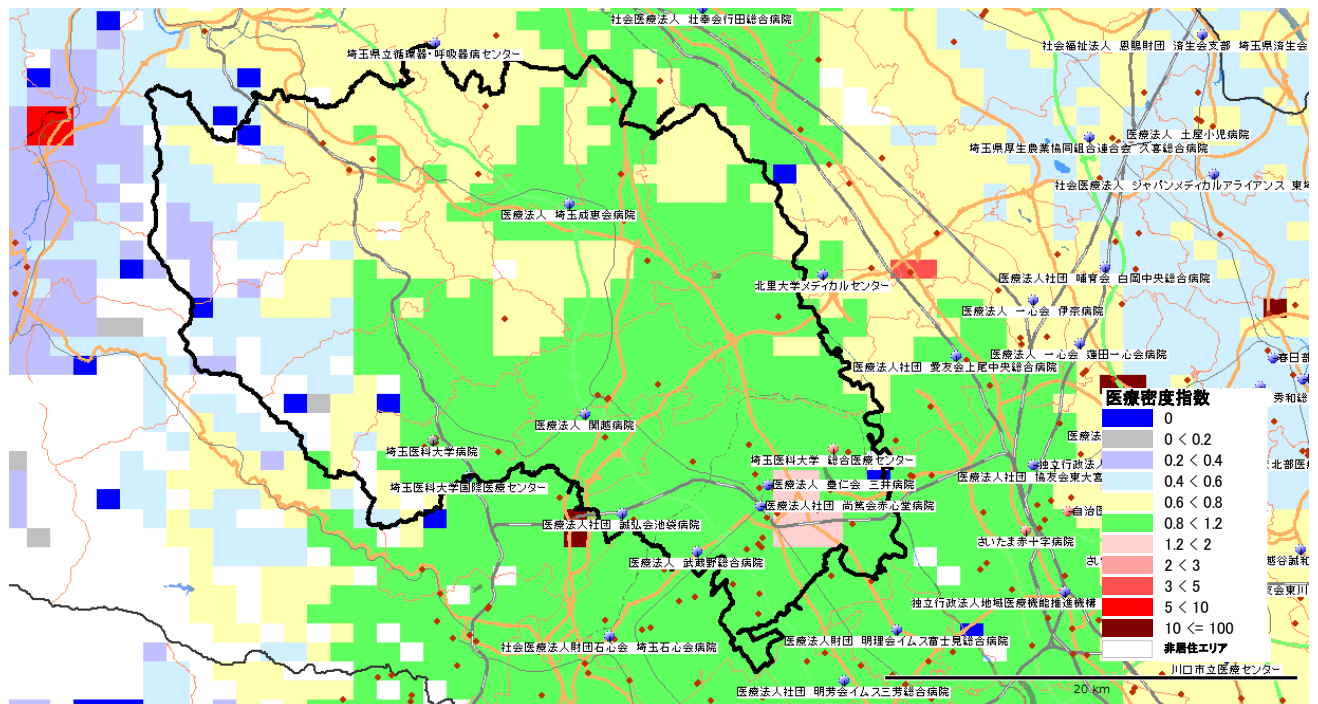
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-6-2 慢性期医療密度指数マップ

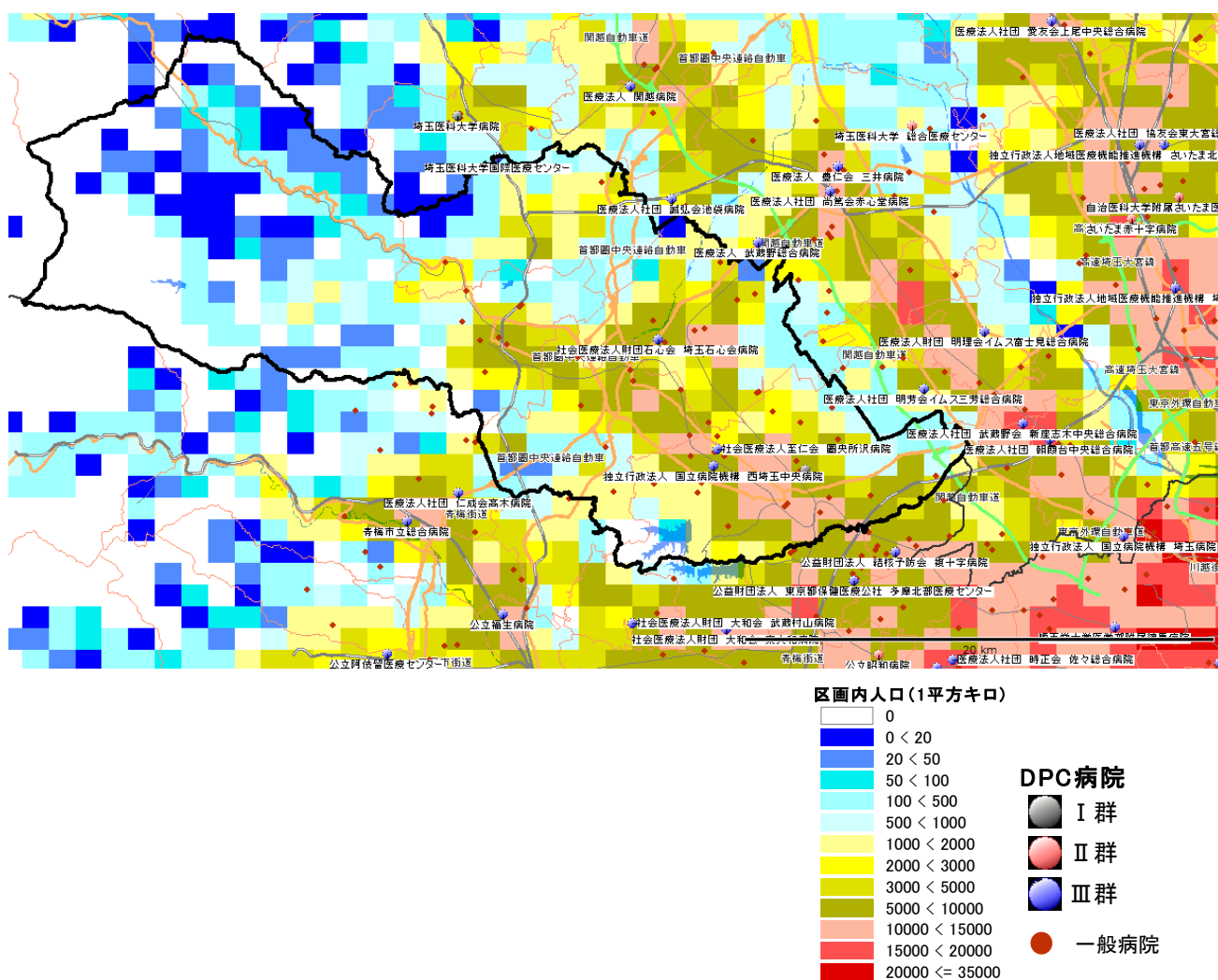


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-7. せいぶ 西部医療圏

構成市区町村¹ [所沢市](#), [飯能市](#), [狭山市](#), [入間市](#), [日高市](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 西部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(狭山市)は、総人口約785千人(2015年推計)、面積406km²、人口密度は1931人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に754千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に665千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の89千人が、2025年にかけて142千人へと増加し(2015年比+60%)、2040年には146千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は284千円(偏差値44)、介護給付費は183千円(偏差値32)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数³は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は1.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が44(病院医師数46、診療所医師数41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の防衛医科大学校病院(I群・救命)、埼玉医科大学国際医療センター(救命)、1000例以上の埼玉石心会病院、500例以上の西埼玉中央病院がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7909人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5236床(偏差値50)、高齢者住宅等が2673床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5807人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム50、軽費ホーム51、グループホーム39、サ高住50である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、817 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42) で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

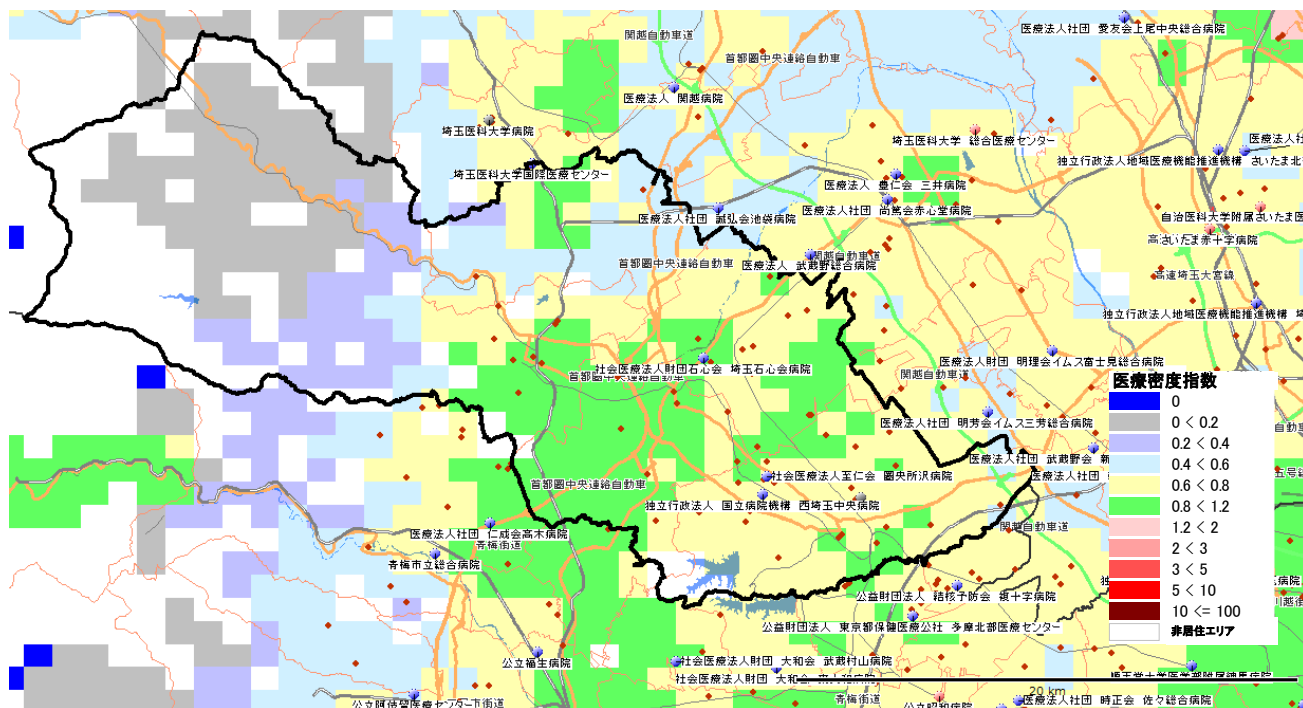
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－79%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

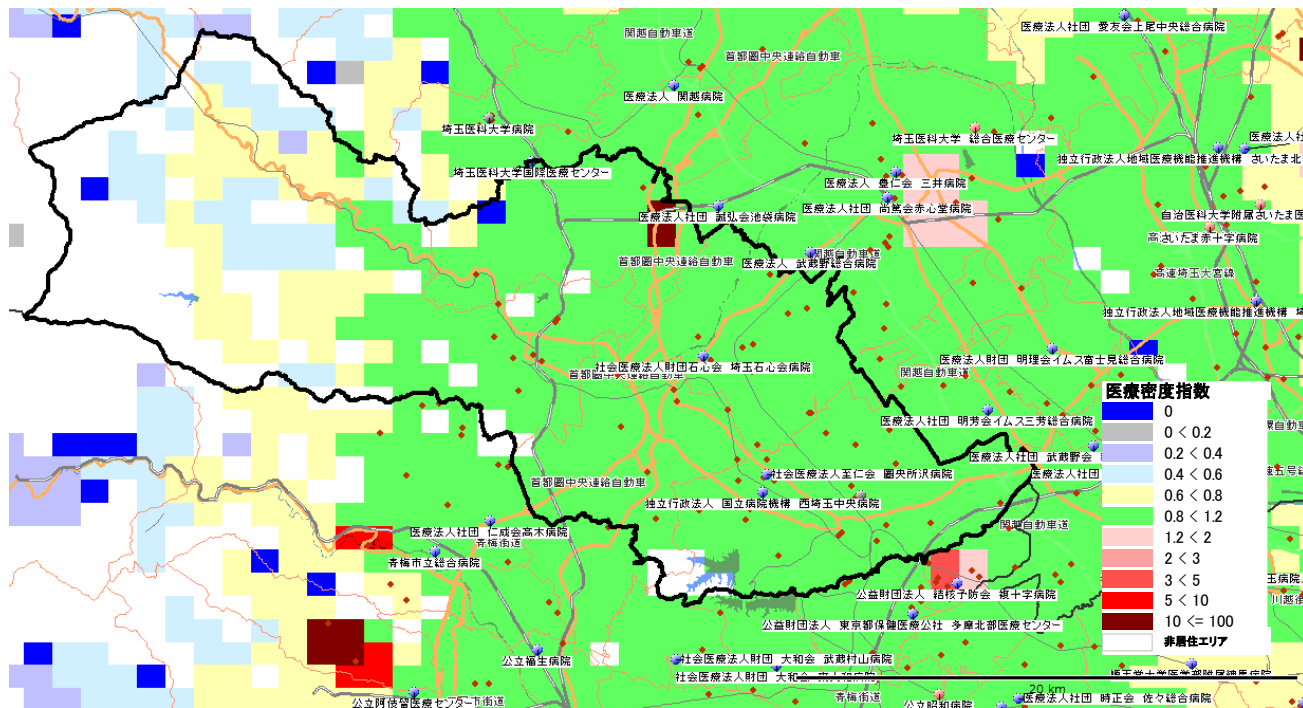
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-7-1 急性期医療密度指数マップ



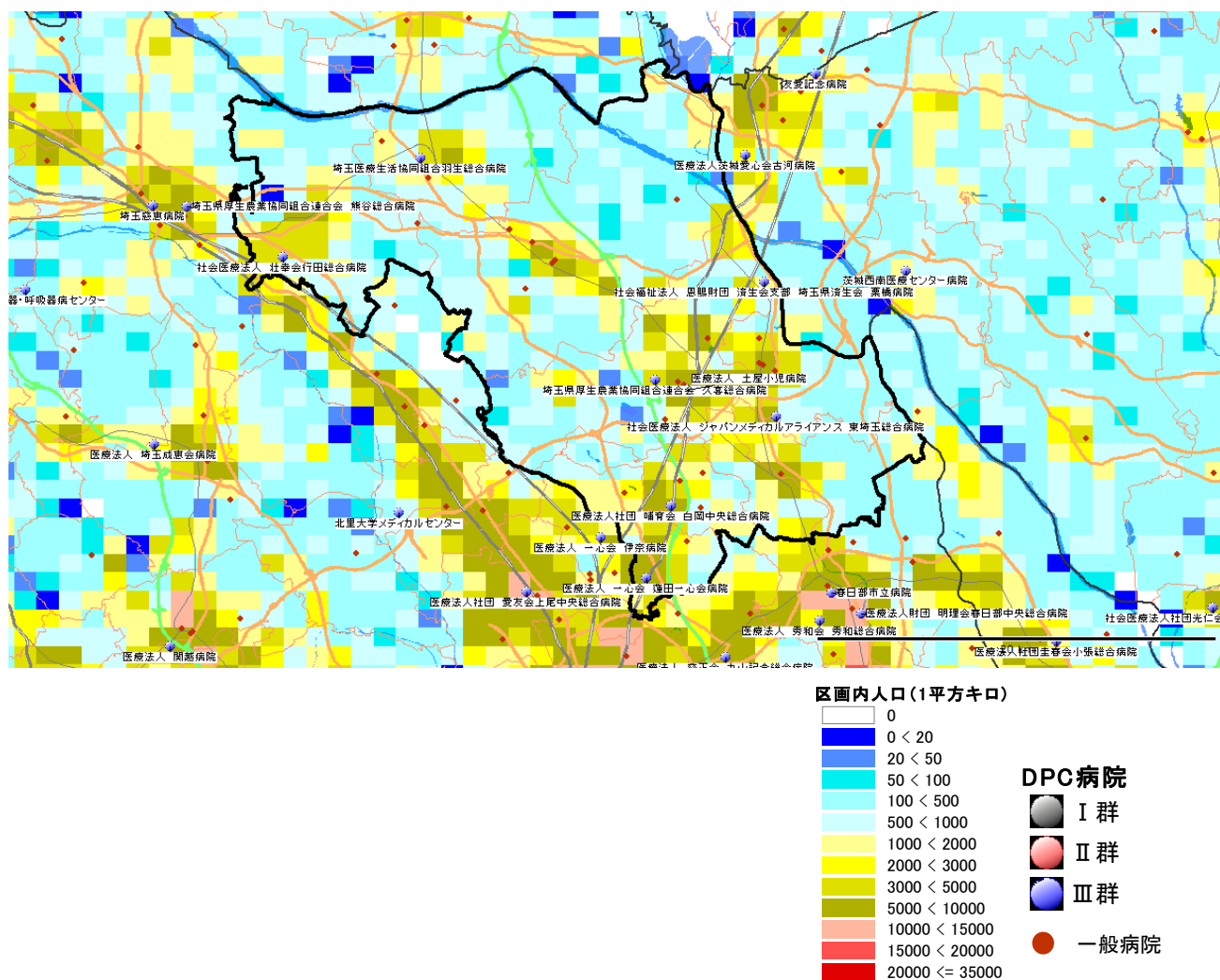
図表 11-7-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-8. とね 利根医療圏

構成市区町村¹ 行田市,加須市,羽生市,久喜市,蓮田市,幸手市,白岡市,宮代町,杉戸町
 人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 利根医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(利根医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 利根(騎西町)は、総人口約 646 千人(2015 年推計)、面積 474 km²、人口密度は 1364 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 利根の総人口は 2025 年に 604 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 510 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 74 千人が、2025 年にかけて 113 千人へと増加し(2015 年比+53%)、2040 年には 112 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 利根の一人当たり医療費(国保)は 298 千円(偏差値 47)、介護給付費は 189 千円(偏差値 33)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 利根の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.58 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 38(病院医師数 38、診療所医師数 40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 40 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。利根には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の久喜総合病院、羽生総合病院、東埼玉総合病院、埼玉県済生会栗橋病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 48 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 36 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 利根の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7287 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 4863 床(偏差値 55)、高齢者住宅等が 2424 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5540 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 60、介護療養型医療施設 41、有料老人ホーム 50、軽費ホーム 54、グループホーム 45、サ高住 47 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 39 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 44 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

少ない。介護職員（在宅）の合計は、624人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

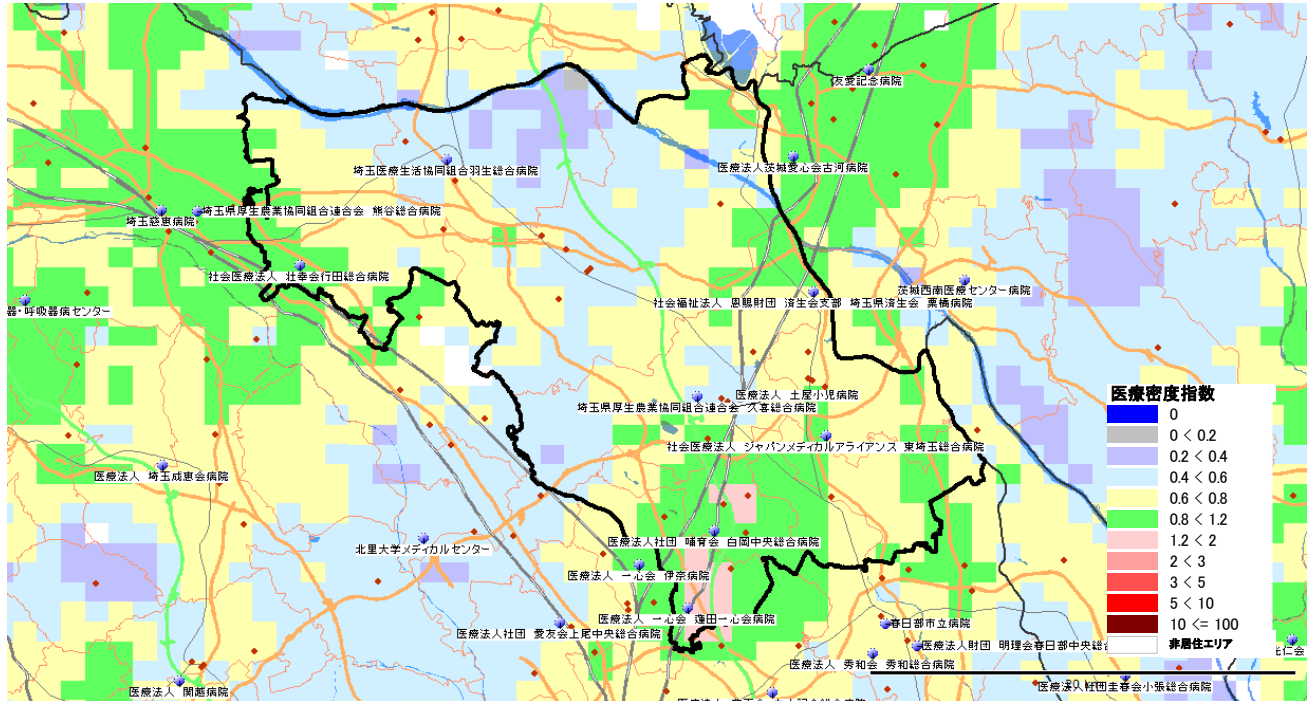
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

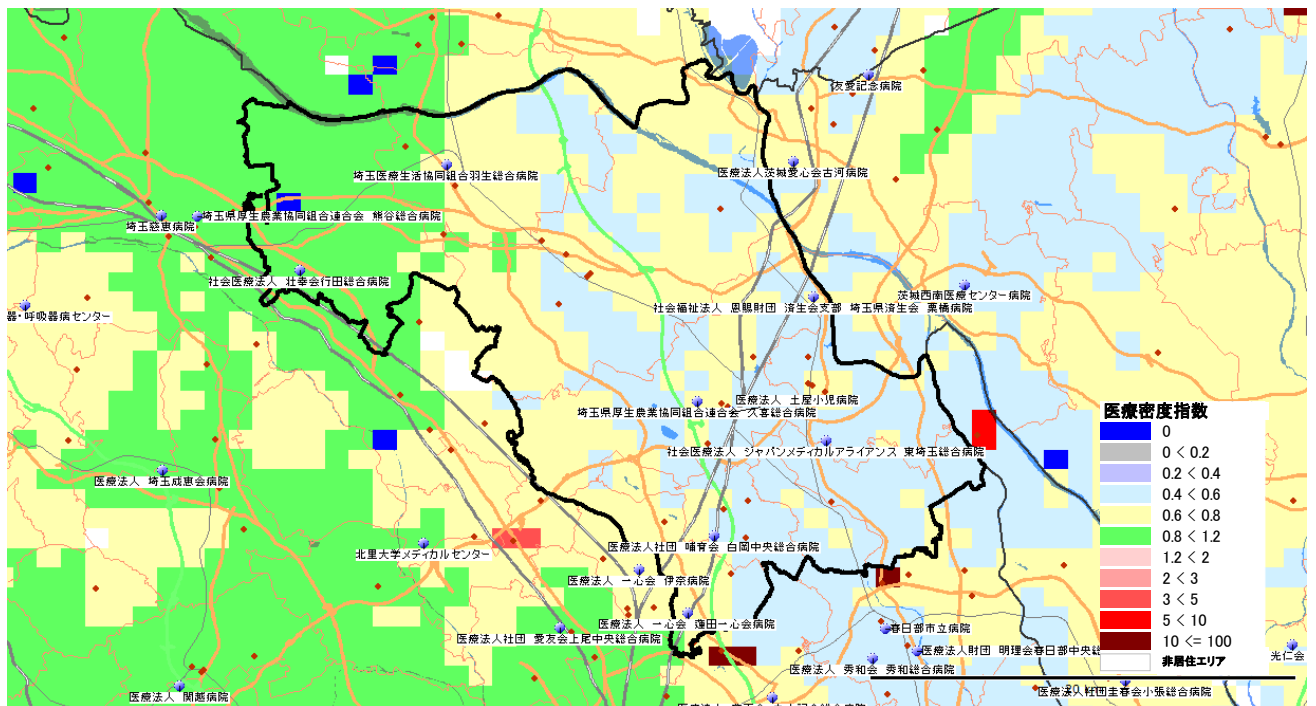
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-8-2 慢性期医療密度指数マップ

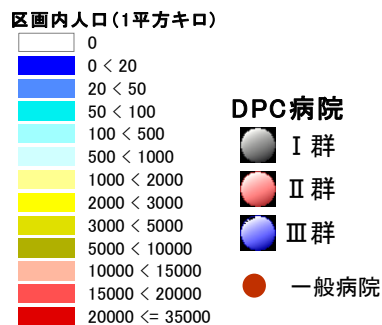
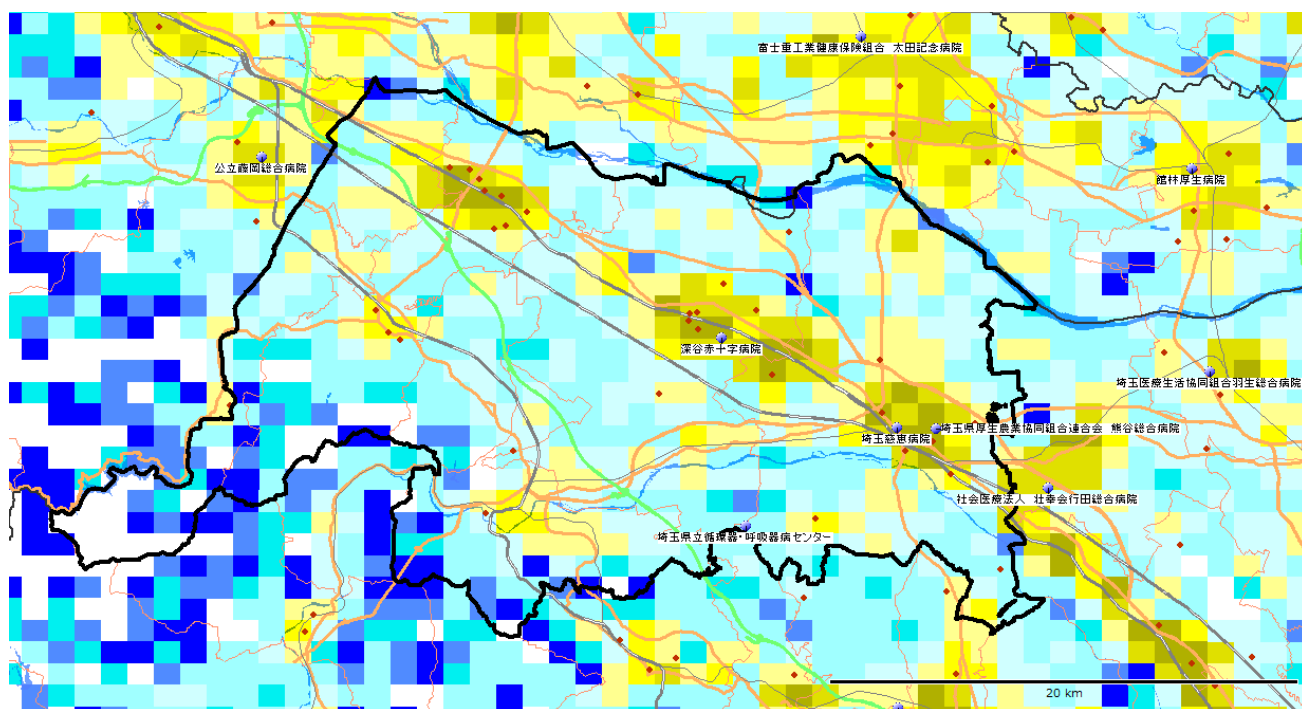


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-9. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村¹ 熊谷市, 本庄市, 深谷市, 美里町, 神川町, 上里町, 寄居町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 北部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

11. 埼玉県

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北部(寄居町)は、総人口約 511 千人(2015 年推計)、面積 562 km²、人口密度は 909 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北部の総人口は 2025 年に 478 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 409 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 61 千人が、2025 年にかけて 84 千人へと増加し(2015 年比+38%)、2040 年には 87 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北部の一人当たり医療費(国保)は 293 千円(偏差値 46)、介護給付費は 229 千円(偏差値 44)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.77、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.77 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 39、診療所医師数 44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 42 と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 42 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の深谷赤十字病院(救命)、500 例以上の熊谷総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 47 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 41 と少なく、回復期病床数は偏差値 41 と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7880 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 71)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4196 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 3684 床(偏差値 67)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5376 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 63、介護療養型医療施設 42、有料老人ホーム 52、軽費ホーム 69、グループホーム 55、サ高住 75 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、581人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

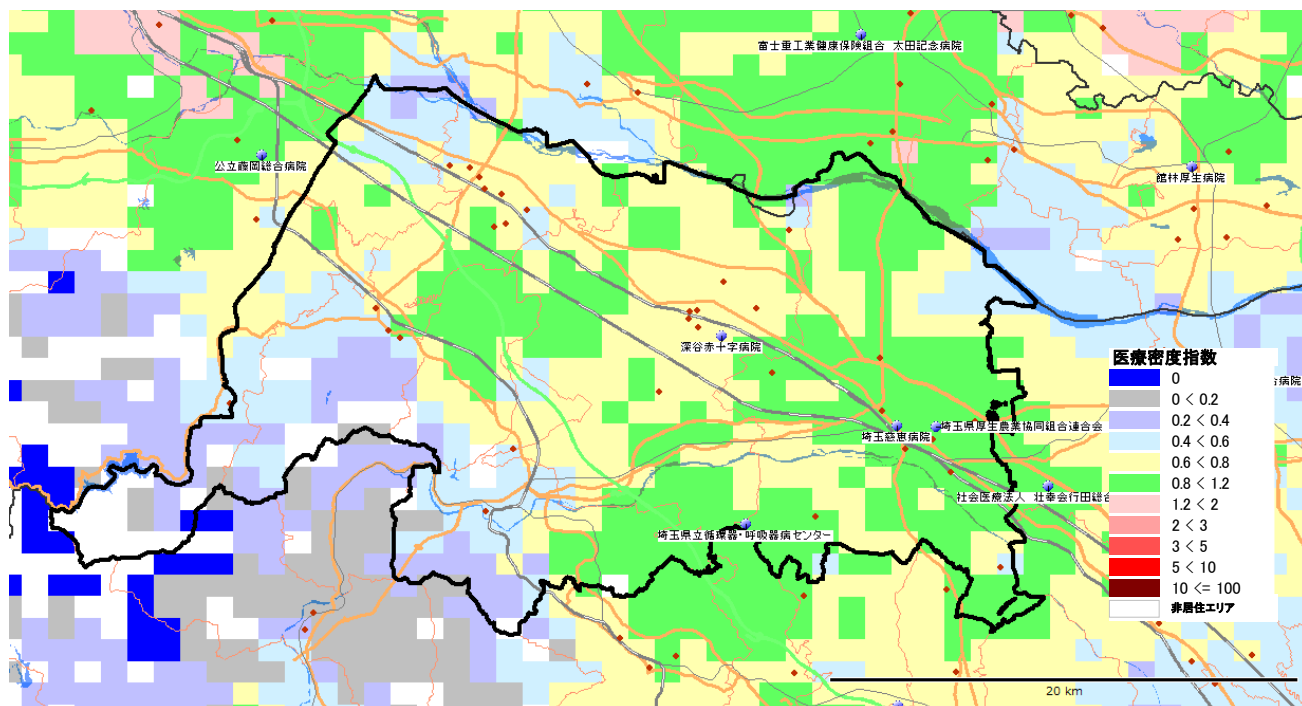
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+18%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

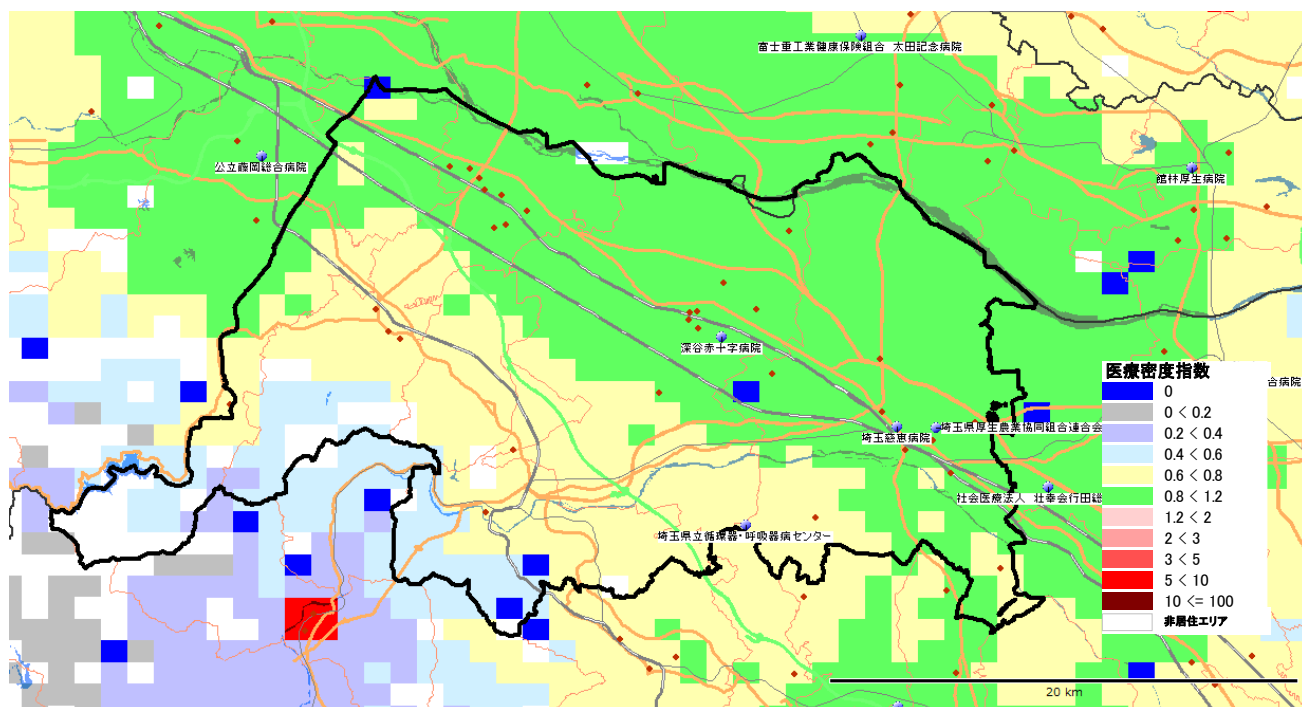
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-9-2 慢性期医療密度指数マップ

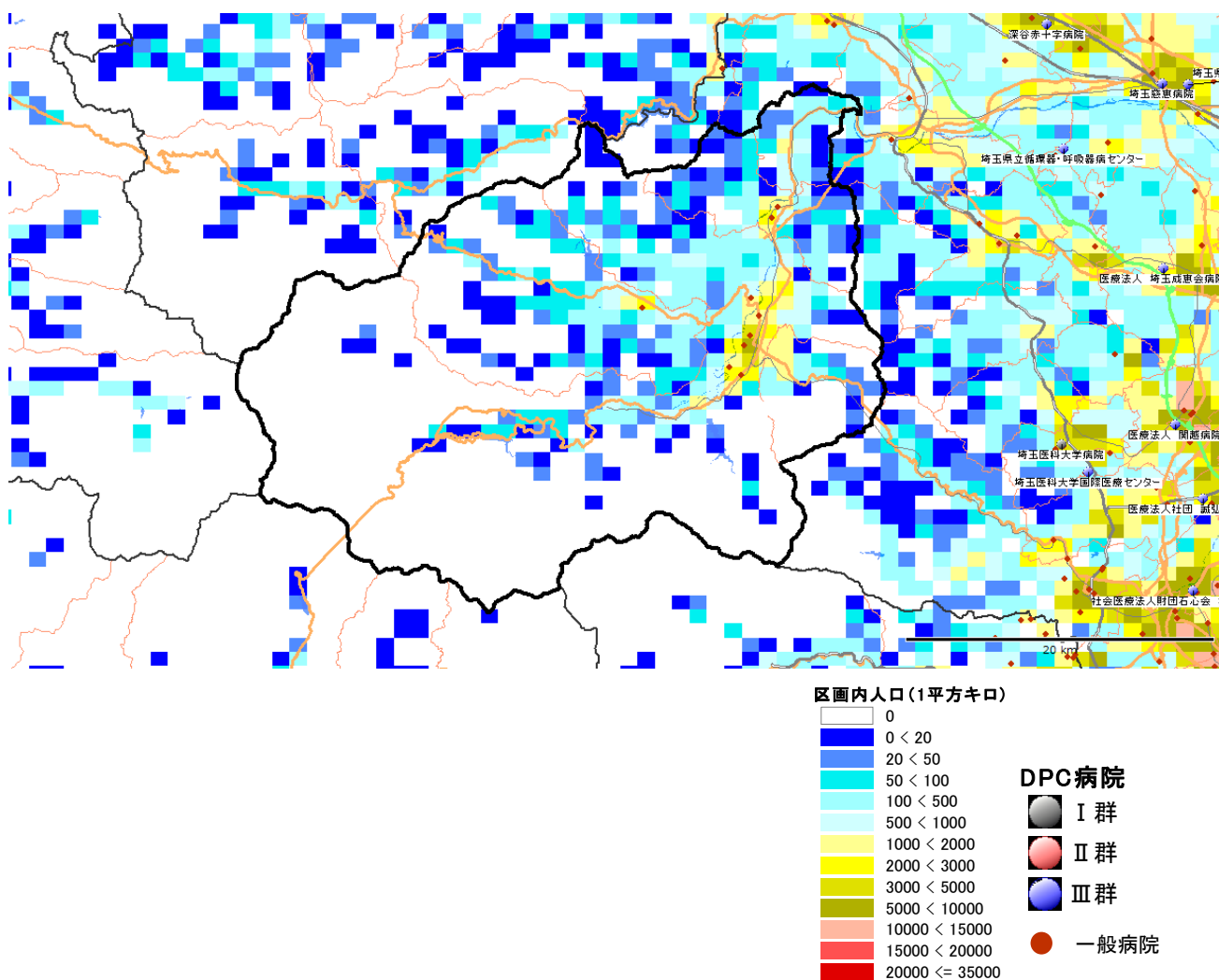


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

11-10. ちちぶ 秩父医療圏

構成市区町村¹ 秩父市,横瀬町,皆野町,長瀨町,小鹿野町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 秩父医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(秩父医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 秩父(皆野町)は、総人口約 102 千人(2015 年推計)、面積 893 km²、人口密度は 114 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 秩父の総人口は 2025 年に 89 千人へと減少し(2015 年比-13%)、2040 年に 70 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 17 千人が、2025 年にかけて 18 千人へと増加し(2015 年比+6%)、2040 年には 18 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 秩父の一人当たり医療費(国保)は 293 千円(偏差値 46)、介護給付費は 246 千円(偏差値 49)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 秩父の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.43、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.81 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 37、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 40 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 39 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 36 と少ない。秩父には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 45 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 43 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 秩父の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1709 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1264 床(偏差値 63)、高齢者住宅等が 445 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1473 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 67、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 47、軽費ホーム 59、グループホーム 47、サ高住 37 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 33 と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在し

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ない。介護職員（在宅）の合計は、152人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

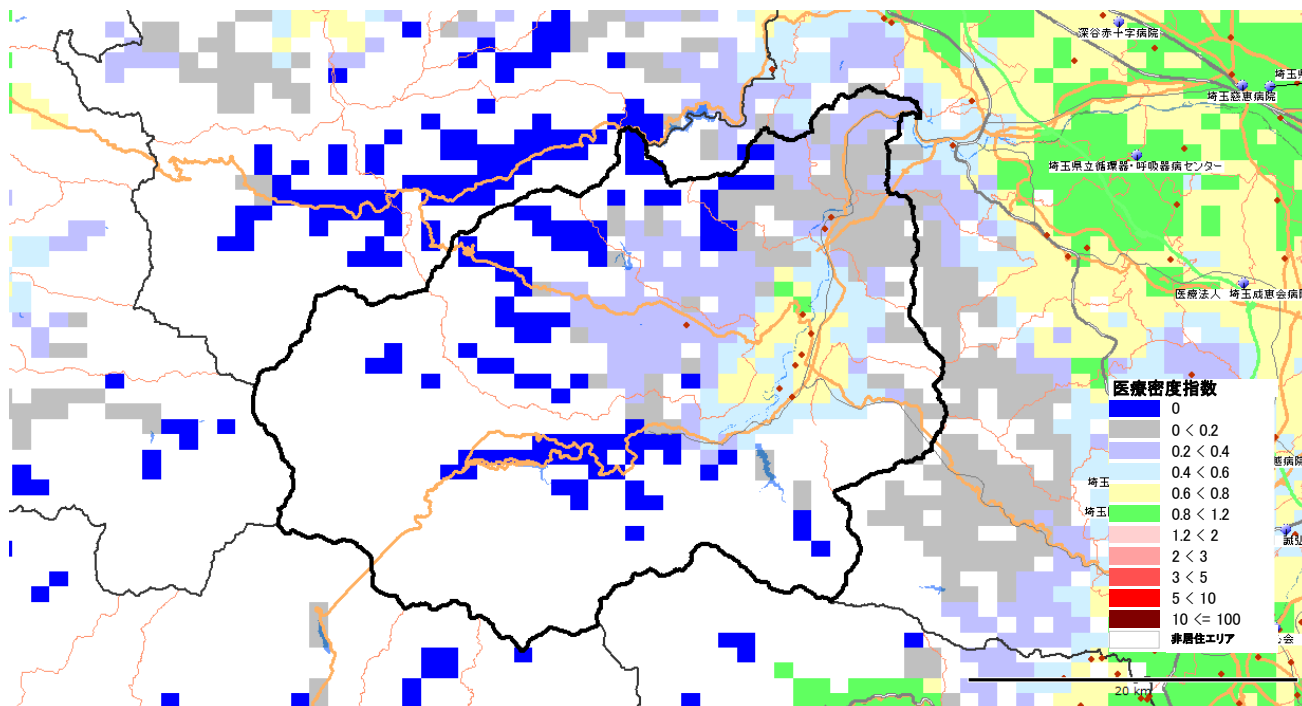
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+14%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

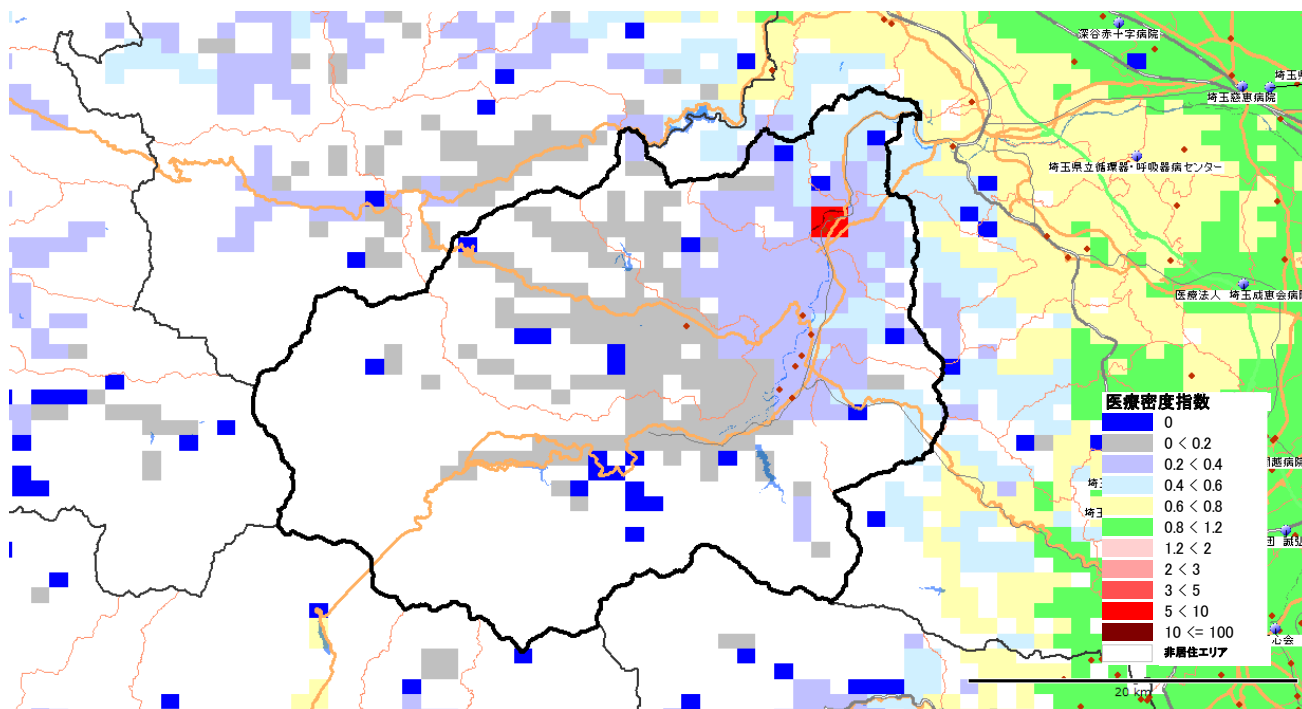
11. 埼玉県

2. 医療密度⁵

図表 11-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表 11-10-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。